

4 アンケート結果

問1 助成年度と活動区分

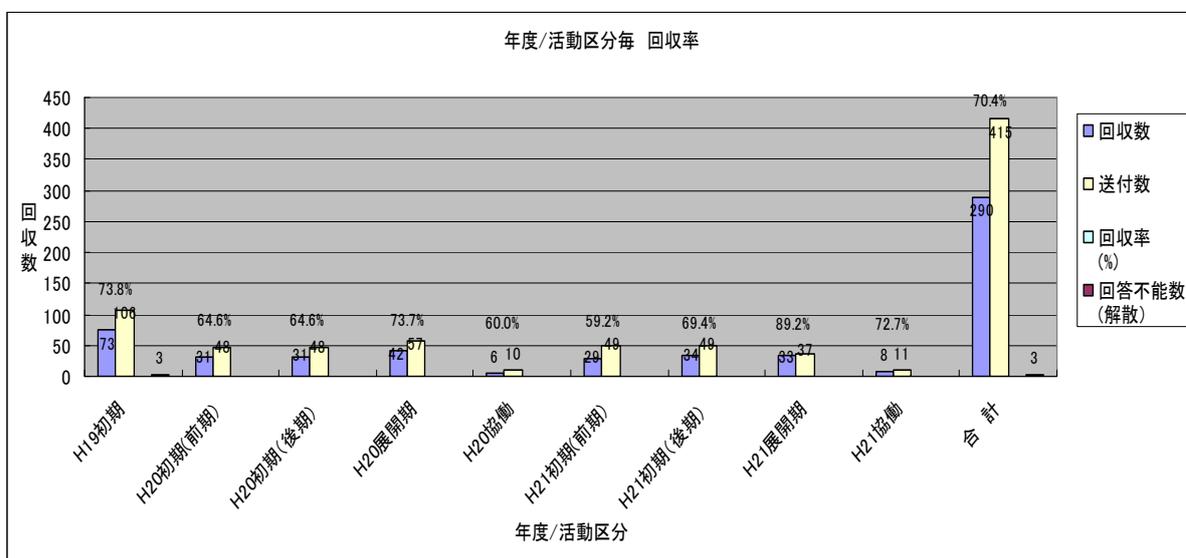
問1 年度/活動区分毎 回収率

N=412

	回収数	送付数	回収率 (%)	回答不能数 (解散)
H19初期	76	106	73.8%	3
H20初期(前期)	31	48	64.6%	
H20初期(後期)	31	48	64.6%	
H20展開期	42	57	73.7%	
H20協働	6	10	60.0%	
H21初期(前期)	29	49	59.2%	
H21初期(後期)	34	49	69.4%	
H21展開期	33	37	89.2%	
H21協働	8	11	72.7%	
合計	290	415	70.4%	3

※回答不能数は電話督促の時点で確認が取れたもの

※回収率は送付数から回収不能数を引いたもので算出した。



問2 有給スタッフの有無

問2 有給スタッフの有無

N=289(無回答を除く)

N=287(無回答を除く)

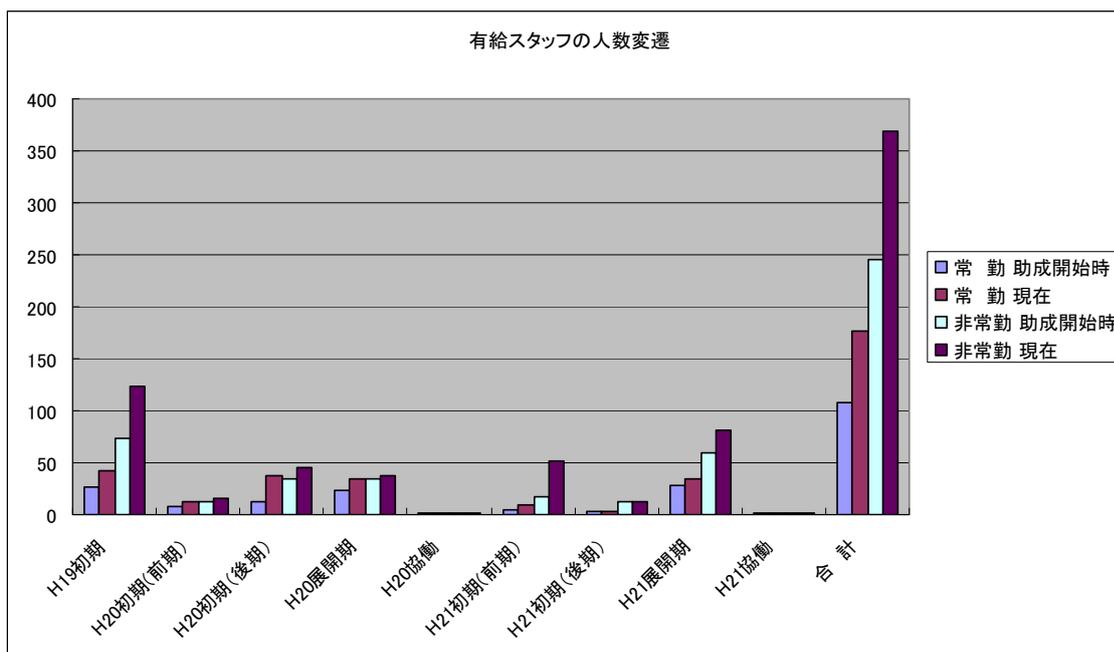
	助成開始時					現在				
	いた		いなかった		回答数	いる		いない		回答数
	回答数	割合	回答数	割合		回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	18	23.68%	58	76.32%	76	21	27.63%	55	72.37%	76
H20初期(前期)	4	12.90%	27	87.10%	31	5	16.67%	25	83.33%	30
H20初期(後期)	6	19.35%	25	80.65%	31	8	25.81%	23	74.19%	31
H20展開期	12	29.27%	29	70.73%	41	12	29.27%	29	70.73%	41
H20協働	1	16.67%	5	83.33%	6	1	16.67%	5	83.33%	6
H21初期(前期)	4	13.79%	25	86.21%	29	8	27.59%	21	72.41%	29
H21初期(後期)	2	5.88%	32	94.12%	34	4	11.76%	30	88.24%	34
H21展開期	16	48.48%	17	51.52%	33	18	56.25%	14	43.75%	32
H21協働	1	12.50%	7	87.50%	8	1	12.50%	7	87.50%	8
合計	64	22.15%	225	77.85%	289	78	27.18%	209	72.82%	287

※割合は各年度の回答数を母数とし算出。

問3 常勤・非常勤の有給スタッフの人数

問3 有給スタッフの人数

	常勤			非常勤			合計
	助成開始時	現在	小計	助成開始時	現在	小計	
H19初期	26	42	68	73	123	196	264
H20初期(前期)	8	12	20	12	15	27	47
H20初期(後期)	12	38	50	35	46	81	131
H20展開期	23	34	57	34	37	71	128
H20協働	2	2	4	1	1	2	6
H21初期(前期)	4	9	13	17	51	68	81
H21初期(後期)	3	3	6	12	13	25	31
H21展開期	28	35	63	60	82	142	205
H21協働	2	1	3	2	1	3	6
合計	108	176	284	246	369	615	899



問4 事業体の年間収入の分布

問4 事業体の年間収入の分布 N=275 (無回答を除く)

収入規模	0-30万円未満		30万-50万円未満		50万-100万円未満		100万-300万円未満		300万-500万円未満		500万-1000万円未満		1000万-3000万円未満		3000万円以上		合計(N)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合		
H19初期	6	8.45%	21	29.58%	18	25.35%	11	15.49%	4	5.63%	7	9.86%	3	4.23%	1	1.41%	71	
H20初期(前期)	4	13.79%	12	41.38%	5	17.24%	3	10.34%	1	3.45%	3	10.34%	0	0.00%	1	3.45%	29	
H20初期(後期)	1	3.45%	6	20.69%	7	24.14%	9	31.03%	2	6.90%	1	3.45%	3	10.34%	0	0.00%	29	
H20展開期	1	2.56%	3	7.69%	8	20.51%	11	28.21%	8	20.51%	3	7.69%	4	10.26%	1	2.56%	39	
H20協働	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	40.00%	2	40.00%	0	0.00%	1	20.00%	0	0.00%	5	
H21初期(前期)	3	10.71%	8	28.57%	8	28.57%	6	21.43%	0	0.00%	1	3.57%	2	7.14%	0	0.00%	28	
H21初期(後期)	3	9.09%	15	45.45%	4	12.12%	5	15.15%	4	12.12%	2	6.06%	0	0.00%	0	0.00%	33	
H21展開期	1	3.03%	1	3.03%	2	6.06%	12	36.36%	2	6.06%	8	24.24%	3	9.09%	4	12.12%	33	
H21協働	0	0.00%	0	0.00%	1	12.50%	4	50.00%	1	12.50%	1	12.50%	1	12.50%	0	0.00%	8	
合計	19	6.91%	66	24.00%	53	19.27%	63	22.91%	24	8.73%	26	9.45%	17	6.18%	7	2.55%	275	100.00%

問5 助成を受けた年度における、収入に占める本助成金の割合

問5 収入に占める本助成金の割合 N=284(無回答を除く)

	助成を受けていない		1~24%		25~49%		50~74%		75%以上		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	0	0.00%	29	38.67%	11	14.67%	9	12.00%	26	34.67%	75
H20初期(前期)	0	0.00%	5	16.13%	9	29.03%	7	22.58%	10	32.26%	31
H20初期(後期)	0	0.00%	13	41.94%	10	32.26%	4	12.90%	4	12.90%	31
H20展開期	0	0.00%	13	31.71%	12	29.27%	11	26.83%	5	12.20%	41
H20協働	0	0.00%	1	16.67%	4	66.67%	0	0.00%	1	16.67%	6
H21初期(前期)	0	0.00%	7	25.93%	6	22.22%	4	14.81%	10	37.04%	27
H21初期(後期)	0	0.00%	8	23.53%	6	17.65%	6	17.65%	14	41.18%	34
H21展開期	0	0.00%	15	48.39%	7	22.58%	5	16.13%	4	12.90%	31
H21協働	0	0.00%	3	37.50%	1	12.50%	2	25.00%	2	25.00%	8
合計	0	0.00%	94	33.10%	66	23.24%	48	16.90%	76	26.76%	284

問6 あいちモリコロ基金からの助成以前に他から助成を受けたことの有無

問6 他から助成を受けたことの有無 N=284(無回答を除く)

	ある		ない		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	28	37.33%	47	62.67%	75
H20初期(前期)	12	38.71%	19	61.29%	31
H20初期(後期)	13	41.94%	18	58.06%	31
H20展開期	31	75.61%	10	24.39%	41
H20協働	1	16.67%	5	83.33%	6
H21初期(前期)	10	37.04%	17	62.96%	27
H21初期(後期)	12	35.29%	22	64.71%	34
H21展開期	24	77.42%	7	22.58%	31
H21協働	2	25.00%	6	75.00%	8
合計	133	46.83%	151	53.17%	284

問7 助成対象事業における活動内容とその実績

H19年度 初期			
活動内容	実績	活動内容	実績
1. 体験・交流		2. 研修	
障がい児家族とボランティアの情報交換会	3月、7月計12回実施 参加者30名 延べボランティア36名	障がい児家族とボランティアの情報交換会	3月、7月計12回実施 参加者30名 延べボランティア36名
緑投の森体験教室	教室は3回実施 延べ参加人員76人(内スタッフ21人)	ネットワークづくり	ワークショップ1回(26名参加)
山を育てる基地をつくらう	間伐材を使って小屋を作ることができた。	地域内外の諸団体と顔の見える関係づくり(イベント参加)	H19/2回 H20/4回 H21/3回
簡易竹炭作りの場設置	廃材活用しての風雨をしのぐ小屋づくり ドラム缶と耐火レンガ、重土を使用して築づくり	毎月二回老人と一緒にレクリエーション、歌、体操、手芸等を行いました。	18回
里山の生活体験活動	「雑木林の整備体験(間伐・葉集め・竹林伐採等)」「田植え」「小川の生き物調べ」「稲刈り」の4回のイベントを企画開催。平均10人のスタッフで、延べ120人の参加があった。	杉材でついでてを制作	名工大で使用 来場300人
雑木林の子ども自然体験活動	「草木染め」「落ち葉スキー」「ドングリ料理に挑戦しよう」「遊歩道作り」「小川の生き物調べ」「表の不思議発見と手作りうどん」のイベントを推進。毎回15家族～20家族、約60人が参加。延べ500人近くになった。	木工機械工業展でついでてを使用	来場8000人ほど
自然体験活動	3泊4日 参加者20人	ビオトープ整備事業	小学生によるビオトープのイメージから設計図を作り、PTA、子ども会、自治会、老人クラブなど延べ200名の住民が協力しビオトープを整備した。
内モンゴル沙漠化防止活動	植樹ツアー (延べ参加者29名、スタッフ73名)		
子供を対象にした稲作体験	19年:田植え128名、稲刈り44名 20年:田植え86名、稲刈り94名 21年:田植え156名、稲刈り47名	講演会、ワークショップ	1回 スタッフ6名、延べ参加者600名
「長久手・漢喫! 植樹& モリロツター」(環境)	★午前: 柳塚墓地公園で植樹 (延136人 スタッフ 95名) ★午後: モリロツターへの施設がけ(延91人 スタッフ10名)	講演会、ワークショップ	計5回(延べ参加者80名、スタッフ15名)
栗のイガ染体験	2月16日 参加者25名 ※モリノウとキッコロが来館	講演会	9回(参加者393名)
太陽パネルで電気づくり	9回 スタッフ4名 延べ参加者500名	講座受講 啓発出前講座	受講13回 16人 出前講座開催 参加者20人×5回 スタッフ1回×2
木工細工体験教室	教室は4回実施 延べ参加人員50人(内スタッフ14人)	座学、講演会 6回	農業、一般についての知識の普及活動 講師6人 延べ参加者90人 スタッフ36人
竹炭作りの材、燃料集め	間伐を要する孟宗竹3～5年もの8本伐採。里山の枯木、倒木を燃料として使用。	防災・減災の啓発講座と開催	H19/4回 H20/9回 H21/13回 延べ参加人数730名 参加スタッフ延べ110名
雑木林の維持保全活動	会員で月一回のペースで、子ども達が安全に雑木林での様々な体験活動が出来よう、間伐・除伐等の整備作業を行った。毎回平均7名程度が参加。	学習会等メンバーのスキルアップ	学習会4回(延べ参加者50人)
県、市の公園施設 子どもワークショップ	年間6回 平均50名、合計300名ほど参加	防災啓発講座の実施	瑞穂区社会福祉協議会との協働講座 学区での講座 町内会・マンション・公園での講座など全20回
夏休み特集子どもたちの自然体験 東京大学愛知演習村	8月子どもたちの自然活動体験 東京大学愛知演習村で水棲昆虫採集を体験。講座を含めて5時間の体験をした。チラシ500部。参加者32名、スタッフ5名。	絵の講習会	1回(参加者11人、スタッフ5名) 指導:日本絵手紙協会公認講師1人
竹炭作りの実施。	8本の竹材を空にて煮し焼き、1回10時間位要す。	「音楽ボラ入門講座」	講座回数5回 2年に1回(6月～8月) 定員20名(スタッフ、音楽ボランティアにて)
カブト虫の幼虫探し	森林公園協会の事業に協賛 参加者50名(2007年度)	小規模講座	子どもと並進やヨガ、書道講座などを行った
学校、子ども会	年間2回 合計80名ほど参加	研修会	研修会4回
市関連の行事への参加	出張及びアイマスク体験2回	公開講座「食と笑いのコラボレーション」	名古屋大須演芸場
◎ 菜種油搾油のデモンストレーション	体験30名	手引き談話法講習会	講習会4回 受講者延べ24人
里山遊びと食育体験と野点体験	4月20日 参加者 94名 当日CBCテレビの「ちきゅう屋敷菓子店」収録 5月18日 13:24～放映	神楽笛の講習会	初心者対象のみ 3会場(緑・瑞穂区)33回/2会場、20回/H
サツマイモ掘り	森林公園の事業に協賛及び里山園クラブで実施 参加者約80名(2007年度)	講演会・シンポジウム・体験学習	講演会・シンポジウム・体験学習をセットでテーマ・講師を変え、二日コースを3回実施。延べ、参加者68名、スタッフ15名
その他施設	年間2回 合計70名ほど参加	セミナー開催(リーダー研修会)	研修講座、パソコン実習付き、6回コースを3組、受講者5人/組 計3組×5人×1回
水田田植	親子を招いて田植を実施 参加者15名	神戸「人と防災未来センター」研修旅行	会員全員(9人)が参加
多世代交流活動事業	毎週火曜日10～12時月間4回 延32回 参加者217名(スタッフ25、親子112、高齢者22)	講演会、パネルディスカッション	1回(スタッフ10名、参加者135名)
自然観察会活動	ホウチ公園、森前干潟等で実施(6回) 参加者150名、スタッフ20名	スキルアップトレーニング	研修会6回(延べ66名参加)
カラオケによるボランティア活動		①環境フォーラムとパネルディスカッション ②生涯学習講座開催、市民の環境啓発と喚起	・環境フォーラムテーマ(水と自然と健康)パネルディスカッション 愛知県環境部課長、コーディネーター 武長脩行氏 ・生涯学習講座、武長脩行氏、蔵治光郎氏 参加人数200名、スタッフ10名、ポスター1000部
地域世代間交流事業	地域に新設された小学校を利用して「新設小学校へ行く」(餅投げ)など 地域住民1500名が参加した交流事業。	ネイチャークラフトの出前ワークショップ	「木工工作」「花炭作り」の2回のイベントを企画開催。平均10人のスタッフで、のべ300人の参加があった。
自然体験を通しての子育て・母親支援	平成20年1月～9月まで24回開催 季節の散歩、野外料理、川遊び、羊毛仕事、子育てに関する相談(延べ参加者240組 スタッフ48人)	食育研修会、6回開催	延べ70名
親子であそぼう会	親子参加24組、保護者32名参加	神楽笛と太鼓(錦太鼓、大太鼓)の講習会	初心者～指導者育成レベル対象 2会場(南区)各12回/H
地域活動支援(日中活動支援)	月平均延べ約80人の利用があった。	毎月転倒予防体操を実施	9回
料理教室を開き食に関して取り組む	8回	環境教室	3回 スタッフ6名、延べ参加者200名
老人ふれあい活動	老人の活躍できる場所や機会を提供し、子どもとふれあうことで、自分らしく 暮らして生きるきっかけを作ることができた。	講演会の開催	「シラタマ星のついで」1回開催 参加者約100名 スタッフ6名
花の会との交流会・見学会	安城市「井畑花の道サークル」交流 岐阜県立大学学童園見学会、資材の融通、情報交換など	会員の資質向上のための研修・勉強会	H19/4回 H20/5回 H21/7回 参加会員延べ170名

H19年度 初期			
活動内容	実績	活動内容	実績
サークル、教室	脳トレニング教室、高齢者の誕生日会、太極拳、若者の高齢者へのパソコン教室等	矢田川一斉クリーン作戦(自然を守る、遊流海上の森)	子ども達と企業によるクリーン作戦。第2回。一斉クリーン作戦。子ども20名、企業80名、参加者100名、スタッフ10名 PRのチラシ1000部配布
ボランティアのスキルアップ研修	6月、9月計2回実施 延べボランティア16名参加	七里の渡し 啓発イベント	舟をチャーターして昔の航路を辿るツアー
子育て講演会	汐見裕幸先生 132名参加	防災イベントの講師旅費	東区で大規模な防災フェアを行い、他区の防災ボランティアを講師として招いた。
健康について講演を開催	6回	リコモネ駅(リコモネに近隣児童の絵、画、書道等を1か月間展示(リコモ)	★リコモ駅(「はなみずき通駅」&「秋ヶ池公園駅」)に6月・11月に実施 ★展示作品 819点 701人 スタッフ延べ84人
行政主催の防災まちづくりの講座支援(手伝い参加)	H20/9回 60名 H21/5回 33名	兒里の家周辺の掃除と流しそうめん	6月8日 参加者45名
多文化理解セミナーの開催	セミナー1回開催(参加者延べ30人、スタッフ2名)	ながくて灯籠まつり支援 モリコロパーク夜まつり支援	★万博開港記念イベント支援 ・灯籠まつり(モリコロ〜ござらっせの間 香流川 沿いに竹灯籠のおもてなし) ・モリコロ大観覧車前でのイベントでおもてなしスタッフ延べ75名
市民向け講座	市民講師による市民向け講座4回(延べ人数約100人)	視覚障がい者との健康ウォーキング	健康ウォーキング5回 参加者延べ40人
会員の防災研修	神戸「人と防災未来センター」見学 被災者体験談・映像を活動に活かす決意	◎ バイオディーゼル燃料による発電を利用し、フライドポテトを市民に提供	約200食提供
市の保健士・栄養士さんによる勉強会	6回	4. 広報・啓発	
ランゲージステック講習会実施	年一回(参加者20名、スタッフ5名)	身近な子育て支援情報発信事業	当団体の活動をパンフレットにまとめ発信する。
スタッフ講師研修会	年間3回 スタッフ講師は上記活動含め延べ214名動員	堀川フラワーフェスティバル 啓発イベント	ゴンドラ運航
3. イベント			
ひな祭り	2月10日～3月3日 見学者延べ80名	健康づくり及び障がい特性理解の啓発活動	8回実施 参加者128名 ボランティア133名
シンポジウム	1回 150人(客)	環境教育活動	体験的な活動を年7回行い、子ども達とその家族に自然環境の大切さを学習してもらった。
子どもチャレンジ2008豊田	ワークショップ、外国語能力の基礎の育成、コミュニケーション能力の育成 スタッフ3名、参加者20名	① パネル展示、パンフレット配布による啓発活動	5時間、スタッフ11名 パンフレット200部配布
名古屋港水族館前で和太鼓演奏とワークショップ	名古屋港で案内チラシ配布(当日) 参加者数85名 スタッフ数8名 来場者数90名	一般公開	計6回 3万人
ドキュメンタリー映画の上映会	3回上映(入場者179名) ボランティアスタッフ16名	地域の防災訓練に参加(行動を通じて啓発)	H19/2回 H20/4回 H21/7回 延べ参加人数1700名 参加スタッフ延べ155名
① 地域活動への参加 三ツ池コミュニティ及び市民館主催事業への参加	ふれあい祭り、いきいき健康教室などで「三ツ池カフェ」を分担。 ・三ツ池公園産の無農薬レモンを使用した「手作りレモンケーキ」や菜園に生育している「ハーブティ」などを用いて来賓の接待。	瑞穂区内のイベントで啓発活動	防災グッズ・災害写真などの展示、防災食の試食
春待通り2008の開催(講演会、映画、音楽イベント)	延べ参加者300人、スタッフ40人	体験農園参加募集案内	案内、申込書の印刷配布
国際児童年記念誌 子どもワークショップ<定例活動>	1～5実習参加者のみ(家族含むと倍以上) 年間12回実施 平均50名 合計600名ほど参加	ペーパーサリールパン作成	パンフ2000部作成
自然観察イベント開催	1回開催(参加者41名、スタッフ13名)	環境教育(中国内モンゴル)	現地小中学校(延べ参加者1,540名、スタッフ7名) 現地教師(延べ参加者168名、スタッフ7名) 現地地域住民(延べ参加者42名、スタッフ4名)
イベント(啓発活動)	キャンドルナイト2回、ワークショップ2回(スタッフ8名、参加者約1300名)	啓発ツール作成	マップ製作 1万枚配布
レジ袋削減シンポジウムの開催	事業者・市民の多くの協力により開催することができたとともに、300名程度の参加が得られ、報道にも取り上げられてPR効果があった。	写真展(併設)	1回
地域イベント	区民まつり参加者200名	啓発ツールの作成	のぼりやポスターを作成し、有料化参加店舗に一斉配布することにより、各店舗が一体となってスムーズな市民への啓発が展開できた。
子どもチャレンジ2008知立	ワークショップ、物語等 スタッフ3名、参加者20名	出版	第一版5,000部 300円で販売完了
熱田区ひなまつり 啓発イベント	ゴンドラ運航	地域紹介冊子作成	市内おすすめのお店を盛り込んだ冊子(1回、一般向け雑誌の津島コーナー担当)
地域ウォーキング企画	市内神社や郷土料理を見て食べ歩く。(1回、延べ参加者20人)	啓発ツール作成	環境教育パンフ(国内)A4版(41ページ)1,000部 環境教育CD1点制作 環境教育パンフ(モンゴル語)A1版(42折)2,000部 学生植付体験感想文集(両国語)毎年 各1,000部
行灯展示	実施日8月10日 行灯数188個(大11、中1、小176) 後180人に絵を依頼	応援隊員の実践活動	市民への栄養指導2回 場所: つながれとNAGOYA、なごやオアシス21 延べ40名
端午の節句飾り	3月9日～5月5日 見学者延べ150名	啓発パフォーマンス	延べ参加者 50名以上
子どもチャレンジ2008刈谷	ワークショップ、物語等 スタッフ3名、参加者20名	啓発ツール	案内チラシ(5000枚)、看板など
堀川ウォーターマジックフェスティバル 啓発イベント	ゴンドラ運航	キャンペーン活動の展開	店頭キャンペーンや署名活動を展開し、市民への広報・周知を徹底することができた。署名は一万名を集めることができた。
瑞穂区外の防災イベント参加・被災支援	豪雨被災者支援 防災フェスタ2008inみなと 防災フェスタ2008inみどり 防災啓発巡回展示ひがし 坂祝交流会 伊勢湾台風プレイベント 防災倉庫直刈り	展覧会	市役所口ビュ展、市民ギャラリー、ODP10、白鳥会場ブース展示
ホテル委員会	夜間、明治小学校の児童・保護者、地域の方を招いてのホテル委員会(参加者約500人)	当会運営の自立化事業推進	三ツ池地域の名物として無農薬レモンを用いた「手作りレモンケーキ」をイベントなどで販売。
緑産布団コンサート出演	有松開村400年記念事業に参加	啓発活動 沙流川の現状と活動紹介 モンゴル書体、文化交流	子ども国際交流フェスティバル(参加者200名) 触れようモンゴルの世界(参加者250名) 国際交流プロジェクトまつり(参加者300名) モンゴルのオードム(参加者250名)
子どもチャレンジ2008碧南	ワークショップ、物語等 スタッフ3名、参加者20名	事業推進のための資金集めと会員の募集	会員からの会費、寄付金、物品販売、モリコロ基金様などの助成金。
収穫祭 1回	里山の恵みで料理 参加者20人 スタッフ6人	成年後見制度の普及、啓発事業	2008/3/16豊川市民プラザにて「消費者被害と成年後見制度」の講演会を実施。参加者52名。

H19年度 初期			
活動内容	実績	活動内容	実績
④ 菜の花の種の配布	200袋提供	9. 日常活動	
広報誌発行	広報誌「桜たより」発行。保存会の活動を市民の皆さんに周知した。	児童安全保護活動	放課後児童を安全に預けられる環境を提供し、第2のお家として生きまきとした学童生活を送ることができた。
環境教育(国内)	中学校(延べ参加者120名、スタッフ3名) 小学校(延べ参加者90名、スタッフ2名)	アダプト活動県道美化活動	上半田名古屋愛知県パートナーシップ事業承認 年間4回、本年6月、9月、12月、3月 総参加人数280名、平均1回70名参加(スタッフ10名)
一人暮らしの生活相談	病院等の送迎、電機や電話の修理、椅子や机の修理、カーテン取替え等。	多文化日本語教室	週一回(参加者延べ10~15人) スタッフ3名
5. 相談		ホテルの育成	ホテル幼虫 約8000匹
中高年を対象にしたパソコンお悩み相談	9回 88名参加	農地の開墾	2007年度 約1000㎡
家族のある方の相談	高齢者の生活相談、若者や高齢者の就労相談等	訪問演奏	阿久比町、名古屋市、刈谷市、武豊町、大府市の幼稚園・保育園
相談支援事業	成年後見等の開始審判の申し立てに至った相談支援が20件だった。	cafeの営業	地域の方が来店することで障がい者が関わっている製品や事業所への理解を得ている。
点図作成事業	点字プリンタ(点図対応)を1台購入	企画会議	ボランティア・スタッフあわせで20名ほど参加
6. 物品購入・寄贈等		後見等受託事業	受任件数が12件 (後見5、保佐2、補助5)
同国の孤児たちに義務教育の支援と子どもの健全育成を図り、就学の機会を失う子ども達に就学望の向上と人的資源の育成に寄与する。	同国のキエラ村のNGO LUWADAの協力で4小学校孤児25名に携行した中学校卒業生の体操着と学用品とサッカーボールを贈呈。マリヤ村で同規模の支援品の贈呈式をした。	子育て支援事業	一時預り3、送迎7、病後児保育1 計21名
庭園の植樹	ヤマザクラ10本購入(5万円)	桜名札付け	桜台帳再整備のため、岩倉市内五桑川流域の全ての桜に名札を付けた。
物品購入	フリー スクールの子ども達が使う物品(コップ、お皿など)購入が出来た。	実践 10回	田植えから稲刈りまでの実技 延べ参加者130人 スタッフ50人
区民防災啓発イベントに使用する各種防災グッズの購入	防災用非常備品、持ち出し物品のサンプル購入し、常備品とした。	郷土の森保全活動	小学校1カ所
備品購入	デジカメラミバッカ、写真プリンター、啓発活動用災害備品展示用品	多文化英語教室	週一回(参加者延べ20人) スタッフ2名
バトンサックスの購入		ホテル放流会	ほたる舞うまちづくりの会、学校の児童によるピオトーへのホテルの放流 (参加者、会員20人、5年児童8人)
2008年希望のトラク奇跡	2008年ミャンマーブムレー義護施設に訪問。モリコロ基金様より助成を受けた購入資金を贈呈しました。その日、子ども達と共に歌い楽しく過ごした。	地域での音楽ボラ活動	地域の社会福祉協議会よりの音楽ボラを協力しています。(年間4回)
2006年3月ミャンマーを訪問	現地の義護施設の状態と現地の要望の確認調査のためミャンマーを訪問 緑のカーテン設置	キノコ植樹	シイタケ、ヒラタケ、ナメコの植樹 参加50名
7. 調査・マニュアル等の作成		老人ホーム訪問演奏	デイサービスにアンサンブル形式で訪問演奏
堀川水質調査活動	遠投橋で4回、他中下橋で2回 矢田川で不定期に3回実施 参加者約90名 スタッフ36名	人形劇	「仙人の知恵袋」154名
土壌調査 1回	品質との関連上土壌調査の実技 講師1人 参加者15人 スタッフ6人	訪問の結果現地の希望とするものを確認	訪問した数か所の義護施設の内、ブムレーの施設で日常使用する各自のトラクが必要とされる。
先進地視察	年1~2回 計6回 会員150人	シニア向けパソコンサロンの開催	3カ所で開催、月2回 平均参加者8人 2回/月×12か月×3カ所×8人
春の矢田川水質調査 尾張旭地域の水質と生態系及び清掃活動、環境喚起 要知おやじの会 設立総会およびパネルディスカッション	水質調査はバックテスト、遠視度器具を使っでのモニタリング PR、チラシ、ポスター1000部 児童館、公民館への配布 参加者120名	ICT推進活動(特別活動・通常活動)支援(環境)	★7区内のIT(町施設科)前でICT推進支援 ・特別活動:(イベント等)(7月・2月 延6日間) (延スタッフ114名) ・通常活動:(PR等)(7月~3月毎日曜日・延33日間)(延スタッフ165名)
8. 事業立上げ・事業環境の整備など		居宅介護支援事業	法人運営費を捻出するための事業だが、後見制度の活動が忙しくあまり力をいられなかった。
岩倉五桑川桜並木保存会設立総会&フォーラム開催	95名の参加者があった。	高齢者支援事業	支援依頼者にて活動 介護保険延200名、保険外延67名 計267名
体験農園の開設準備	開設畑の草刈、深耕、排水清掘 30㎡×20区分 45㎡×6区分 計26区分	ボランティア活動	名古屋市中川区東部に集中豪雨が有り復興現地機械材輸送、ガソリン補助、8月末集中豪雨交通参加者9/29~9/15 75名
岐阜薬科大学薬草園からの薬草分譲事業	約20種の薬草分譲により薬草園開園	桜への施肥活動	グリーンバイル(根本に打ち込む肥料)を2,400本打ち込んだ。
2007年4月ミャンマーの親に恵まれない子ども達を支援するため、イラワジ友の会設立	支援者を募るため、会員募集し会員13名でイラワジ友の会発足	地域の翻訳、通訳活動	不動産関係トラブルに関する翻訳(28回) 工事の注意点に関する翻訳(2回)など 小行灯約16個(夜、行灯内を3時間点灯) 過去の作品も約15個(絵を切り取り記念帖に貼る)約2週間周期で入替展示
活動中に着用するユニフォーム作製	会員プラス予備として16着作製	常設の行灯展示場	
庭園の植樹と池の浚渫	ヤマザクラ10本植樹と池の浚渫を這園業者に委託(25万円)	里山の維持保全活動	一般市民を招いて様々な体験活動を行う拠点である里山や雑木林を月に2回のペース、スタッフ10人程度で維持保全活動を行った。
専任常勤職員の雇用	男性1名を雇用できた。	モリコロパーク樹齢板設置(美化)	★モリコロパーク 愛・地球博記念館~子供広場の園路 沿いの樹木に樹齢板設置(同パーク内の枯れ木を 活用し樹齢板制作)。 ★前準備作業を除き、当日延72人 スタッフ45名
		西尾市総合防災	1回 スタッフ6名、約1000人の方々に見て頂きました。
		桜の枯れ枝剪定	7月~9月の間、3回剪定活動を行い、桜の保全、景観保護に尽力した。
		応援隊員の実践活動	市民への食育啓蒙支援(食育検定問題に挑戦) 場所:名古屋久弥公園もちの木広場 延べ100名
		竹林整備 1回	竹藪の管理、整備体験 参加者25人 スタッフ6人
		活動全般に使用する事務・通信費用	イベント時のPR郵便費、配布物用紙、会員、協力メンバーとの通信費として活用

H20年度 初期(前期)			
活動内容	実績	活動内容	実績
1. 体験・交流		ボランティア入門講座実施(車椅子、福祉車両体験)	講座2回(延べ参加者24名 スタッフ5名)
地域の子ども会に環境学習と実技活動	①子ども会3団体 100人以上、スタッフ15人 ②地域の人の集いで講習 100人以上	公開シンポジウムの開催	参加者110名
自然体験活動プログラム	5回実施	6回シリーズの講座を行った。	受講生は60名だった。
観察会とスタレ作り	ヨシはらの生きもの観察 地元文化であるスタレ作り(ヨシ編み) 参加者40名 スタッフ6名 ゲスト講師1名	安全講習会	チェンソー・草刈り機の安全な使用について指導(参加者8名 スタッフ5名)
わくわく省エネ体験	幼稚園、保育園児の絵画展示、省エネ診断ほか 参加者250名	後期ワークショップ実施	2008.06.14春岡小トワイライト(参加者18人) 2008.06.28富士見台小トワイライト(27人) 2008.07.05東山小トワイライト(27人)
砂漠スタディツアー	4月、7月に開催 参加者11名	食と農法	年間53回の事業、事業はほぼ計画通り実施できた。
「本陣まつり11/16参加 新聞紙でプロ子作り」指導 創作班	会員5名 年間26回事業は予定通り	運転協力者講習会参加(福祉有償運送の運転者講習) エコの講習会	3回 延べ14人参加 1回参加者64名 スタッフ3名
竹箸づくり教室	5回延べ240名 スタッフ15名	社会福祉団体での啓発及び技術指導	各種団体、学校での環境学習
自然班	年間12回、事業は予定通り	研修活動	研修会開催
みどり多文化交流会の開催	第一回みどり多文化交流会を開催(緑区役所)外国人108名、日本人104名参加	ごみ分別講座の実施	緑環境事務所へ協力を得て資源とごみ分別ゲーム大会を実施。 外国人19名参加
毎月2回(第1、3木) 会員同士で毒物のリユース・布ぞり作り エコクラフト・交流を行った。	会員延べ120名	竹ドーム講習会	2回 延べ40名 スタッフ6名
外国籍の子どもと地域の子どもの交流会 (宿泊)	世界の国の音楽・ものづくり・料理づくり等の異文化体験に子ども80人参加、地域住民・保護者60人参加、ボランティア26人	地域、学校への出前講座	小学校1、中学校1、助成団体1 講座、に参加炭素実験他
他団体との交流 三重県福川視察と河川愛護会メンバーとの交流会	35名参加(うち会員5名)	内モンゴルでの日本語教室	21日間開催 参加学生7名、スタッフ12名
音の様子聞き取り	5名×10	3. イベント	
地域行事への参画推進	外国人に対し、運動会、美化活動、盆踊り等への参画を促す。浴衣試着など。	国際交流事業田植え祭	東海ナイジェリア人会の皆さん、総勢70名余
韓国ソウル市清溪川ほか加算視察と現地関係者との交流会	①事前勉強会開催 27名参加 ②現地視察に25名参加 ③交流会 21名参加 他の成果	親子で楽しむイベント	計20会 6か所まで
韓国ソウル市清溪川ほか加算視察と現地関係者との交流会	①現地視察関連資料集25冊発行 ②視察記録集100冊発行	6月堀川まつりでの熱田大山(車渠)を復活させ曳き回しする祭を実行	2日間祭観客動員 約2000人程
見学会	リサイクルセンター総勢25名	秋のウォーキング大会	参加人数:258名 コース:夫田川河川敷とこの周辺 内容:準備体操、5km又は8kmを歩く、お汁粉を提供、アンケート記入
交流	・町の交流都市、南木曾町との交流・町民祭りに参加	伝統行事尾張富士石上祭り	他の団体と合同参加、総勢80名
2. 研修		「環境デーなごや2008/9/7」に参加・出展(布ぞり指導)	会員9名
講座	地元子どもと老人の交流80名	国際交流事業秋の収穫祭種別り	ナイジェリア人会の家族ぐるみ参加、総勢70名
夏休み親子教室	1日目 三重県青山高原風力発電、中部電力川越発電所見学 2日目 自然エネルギー工作、温暖化実験、省エネ講座 18家族 54名参加	岡崎市環境展	地球温暖化防止コーナー設置、省エネ診断、風力発電自動車レース他 参加者3943名
講演会	講演会5回(延べ参加者400人、スタッフ20人)	大口町ふれあいまつり野菜の販売	大口町づくりの一行事に参加、総勢18名
市民フォーラムの実施	全体参加者150名、参加団体11団体 シンポジウム発表者6名 など	環境フェア	環境フェアにて地球温暖化防止コーナー設置、手回し発電(LED、豆電球比較)、省エネ宣言他 参加者250名
講演会とどんぐり授業	「日本のどんぐり砂漠のモンゴリ」参加者1500名以上、スタッフ30名	逢妻川まつりの実施	逢妻川河川敷緑地(ボランティアで整備)町内会と共同して健康づくりを中心に約300名の参加を得て開催
前期ワークショップ実施	2008.06.14春岡小トワイライト(参加者33人) 2008.06.28富士見台小トワイライト(27人) 2008.07.05東山小トワイライト(27人)		
全体	年間参加人員、一般参加人延べ1679人(大人683、子ども996人)、年間91回の事業を行った		
会員以外にも開かれた近自然講演会の実施	年間4回開催 一般受講者数41名、スタッフ(会員数)47名		

H20年度 初期(前期)			
活動内容	実績	活動内容	実績
4. 広報・啓発		8. 事業立上げ・事業環境の整備など	
グリーンマップの制作	瀬戸川グリーンマップの制作を約350万部印刷して配布	森林の所有者(当該年度約40名)の土地使用承諾書を得て、事業者手の準備	全員の承諾を得ることが出来、平成22年度に作業道「塩沢線」全長2.139mの内598mの開設
啓発事業	国際理解教育授業 20回(小学校11回、中・高校3回、大学6回) 講演会等 4回	日本語教室の開校	市宮橋狭間荘にて日本語教室開校(第2・4土日)市宮表の里荘での教室を継続
環境保全に関する啓発	参加人数:市民祭で約400名、中学校文化祭で約300名 矢田川生き魚類展示、環境調査パネル展示、矢田川航空写真(H3とS56)展示 アンケート 市民祭会場で散歩に関するアンケートを実施。(散歩の動機、頻度、時間など)	小湿地保全施設の整備	延長32mの木道を設置
啓発活動(地域の住民や子ども会)	チラシ、案内書作成配布500枚以上	ベンチ設置	池裡耐散歩みち「遠妻健康のみち」に木製ベンチ2台設置
講演会、シンポジウムなどの啓発活動	講演会の開催1回(参加者数約40名)	作業道「塩沢線」編入れ	当組合及び新城森林組合、市森林政策課の協力を得て実施できた(延長2.139m)
パンフレット作成配布	5000部作成 3000部配布	9. 日常活動	
「第9回全国まちづくりレジン横津」で活動発表	前期ワークショップの内容を中心に発表	雑木林の保全・整備活動の実施	期間中14回実施(延べ参加者数201名)
周知、啓発活動	水道週間PR活動	どんぐりの苗木植樹	150名の親子が参加 スタッフ20名 250本のグナキ植樹
啓発ツール作成	パンフレット1点1500部作成、以後適時配布	間伐と枝打作業	森林管理技術者初心者に指導(参加者5名 スタッフ3名)
啓発活動	9/22 西枇杷小学校通学路みまわり隊 助ます式典主催 10/10 西枇杷零管内 自主パトロール団体との意見交換会	遊休農地の整備	真にみまわり、冬に菜の花を子ども達と育て、環境学習を実施した(延230名 スタッフ8名)
講演会の開催、啓発活動	「利益の出る間伐施策を目指して」と題して講演会を実施した当組合を支援していただいた内容であった	機動力による防犯活動	週1回 青パト車両4台にて地域(3.2平方キロ)平均20kmを1時間余り巡回パトロール(延年=3760km 4台分)
5. 相談		災害救助活動	防災訓練参加
6. 物品購入・寄贈等		河川の清掃活動	清谷川清掃2回延70名 汐川清掃1回400名
草刈機の導入	刈払機2台購入	地域防犯による安全安心な暮らしの見守りパトロール活動	小学校区の登下校時の見守りパトロール実施 毎週月～金 年平均210日防犯パトロール活動参加(延1750人)
団体名入りユニフォーム作成	ユニフォーム100番作成	環境保全活動	水源地清掃植樹活動
7. 調査・マニュアル等の作成		小児児童による広葉樹植樹	豊田市土橋小学校児童によるコナラ・ホウノキ等の植樹(児童70名 スタッフ15名)
生き物調査	50名×1、30名×2	花壇整備	池裡耐散歩みち「遠妻健康のみち」に2カ所の花壇(80㎡)を整備した。
作業道「塩沢線」の測量(IP設置、中心線、横断)の実施	主と新城森林組合、市森林政策の指導を得て、測量を実施できた	夜間防犯パトロール活動	週一回「自分たちの街は自分たちで守る」の機運を継続させるため区域ごとに拍子木を打ち鳴らし赤色停止棒を持ち徒歩巡回パトロール 48回 延べ人数580人
作業道「塩沢線」の土地所有者説明会の実施	現地視察に25名参加	福祉有償運送	サービススタッフ3名、利用会員15名増加
水値の測定	毎月定例活動の灯に川の上流中間点、下流の3カ所でGDP、透明度を測定	防災訓練の実施	「みどり災害ボランティア」の協力を得て、地震災害について講座実施外国人16名参加
底生生物の定量調査(研究者による)	6つの干渉のべ42地点の泥の採取と分析 採取4日 分析15日(大学の協力による)	シカ害防除作業	シカ害防除のためにヒノキにビニールテープを巻く(スタッフ20名)
生きものマップ作り	ヨシはらの生きもの観察と生きものマップ作り 参加者20名 スタッフ10名 ゲスト講師1名	防犯関係団体とのイベントへの参加活動	5/29 県内初の地域緊急時の情報を共有して子ども達を守る「学校安全緊急情報共有化広域ネットワーク」合同訓練に参加(県内小中高、幼など3390校)参加
開き取り集作成		砂漠化地域での苗木づくり、水田づくり	兼古植、ポプラ、文冠果(?)200本、水田7面耕作
		先導的森林ボランティア事業	花粉の少ないスギ苗木植樹(スタッフ10名)
		地域団体への支援	①知立市遠妻保育園児とみまわりの種蒔きと収穫 ②知立第1回ボーイスカウトキャンプへ学費提供
		行政、企業、華任団体(ライオンズクラブ)での共働活動	行政の中の環境課との共働活動の実施 年3回
		外部「エコクラフト」の講師派遣(老人会)等	34名(延べ)

H20年度 初期(後期)			
活動内容	実績	活動内容	実績
1. 体験・交流		昭和区11学区防災、安心まちづくり講座<レスキューストックヤード主催>22回講座	災害图上訓練(DIG)は主担当、他防災講座支援体制にてまちづくり参加支援(参加者延べ600名)スタッフ延べ約80名(交代しながら相互レベルアップを)
科学実験教室	体験教室7回	難聴者等が利用する福祉機器の取組み	3回(延べ参加者100名)スタッフ3名
親子参加型自然体験ワークショップ	2回(延べ26人、スタッフ3人)	体験講座	12か所で14回
落ち葉と米ぬかを使った堆肥づくり	・自然の恵みを活かした堆肥づくりをし、花栽培に活用した。 ・環境を意識した活動ができた。	研修会	会員の技能向上のための研修2回
不耕起(ふゆみずたんぼ)田植実践会	3か所2日 スタッフ3~5名、延べ参加者80名	養成メンバーとスタッフのスキルアップ学習会	・毎月1回実施 (延べ参加者30名、スタッフ毎回2名)
小中学生、保護者との合同花壇造り	ヘデラの苗木植え 施肥 1回 延べ18人	おえかき教室	のべ親子8組
ボランティア活動「里山・雑木林の整備」	現地にての活動 雑木の伐採の手伝いをしながら里山を学ぶ 参加9名	ふゆみずたんぼ講習会	4回 スタッフ1~5名、延べ参加者160名
たんぼの生き物観察会	1回 スタッフ1名 参加者7名	トルコ料理教室	4回実施、延べ参加者60名、スタッフ8名
福祉分野ゲストとの勉強会・交流会	12回開催、各回20名ほどが参加	同講演により寄付金等あつめることができた。	
里山の現状とボランティア活動について	担当者との今後の活動内容の検討(現地) 参加11名	講師養成	2回9名
おはなし教室	延べ親子8組	高齢者向けIT体験	はつらつ長寿事業で集まった高齢者のPC体験 13回実施 (延べ参加者200名、延べスタッフ60名)
現地真季交流会(夏休み企画)	夏休みの現地と名古屋からの参加で交流会(家族)パーベキュー大会 参加25名	身だしなみ講座	試験的に身だしなみ講座を開催 3回開催 塾生計50名
2. 研修		託児ボランティア養成講座	4回(延べ参加者 588名)
あいち防災リーダー養成講座9日間講座	本部への支援にて防災教育資料開発 防災啓発道具により、より良い具体的な啓発指導ができた。(修了生74名、スタッフ延べ50名)	ダンス教室	のべ親子7組
講習会(難聴者、中途失聴者、支援ボウ)	全6回(延べ参加者208名)スタッフ12名	学習会「COPI10と里山再生」	現地にての活動 雑木の伐採の手伝いをしながら里山を学ぶ 参加9名
連続講座	2か所で延べ36回	トルコ語会話	12回実施、延べ参加者48名、スタッフ12名
毎週日曜日午前中 日本語教室の開催	開催日合計45回 学習者合計944人 ボランティア合計511人	港区老人倶楽部連合会主催防災講演	防災を楽しく学ぶ展示、具体的減災対策、目で見て学ぶ) 参加者約200名 スタッフ3名
出前授業の実施	延べ20校の30授業に当フォーラムの講師を派遣し、授業を行った	日本文化理解のための季節の講座	年賀状作成10/21 学習者22人、ボランティア14人
体験型学習講座、障害者施設見学と職員による障害理解講座	・体験講座2回 ・施設見学+講演3回 (延べ参加者60人、スタッフ毎回4名)	IT訪問支援	障害者の自宅へ訪問 ・機器保守、改造、使い方指導や支援 訪問回数(6回)
音楽レッスン	年10回行い、1回につき約30名ずつ参加、スタッフ6名	子連れママ向け講座<単発>	32回(延べ参加者 588名)
クッキング教室	延べ親子6組	勉強会(講座9)	随時(5回)、講座(デザイン)
講演(田中和夫氏) 「里山活動に期待する」	(現地で活動している方と座談会形式の交流を含む) 参加12名	出前講座と単談ボード作り (名古屋市港区身体障害者協会にて)	寸劇を交えて単談講座をした。また、協会の例会で、当会会員と一緒に単談ボードを作った。それを利用して伝言ゲームを行い、書いて伝える楽しさを実感してもらった。(25名参加)
講習事業	54回(参加者のべ450人、スタッフ3名)	子連れママ向け講座<継続>	45回(延べ参加者515名)
講座の実施	4回(延べ参加者120人)	見学ツアー	場所:NPO法人 朝倉川水フォーラム1回 延べ6人
エチオピアから同国人マグレツ・ウルデタンサイ夫人を招き、エチオピアの現状を講演した。	新城市内3か所において同講演を行い、エチオピアにおける緑化の必要性を訴えた。	教師研修会への講師派遣	平成21年6月5日西春日井市地区校長等4役研修会中西久枝講師、11月18日愛日地区校長会、加藤延夫講師

H20年度 初期(後期)			
活動内容	実績	活動内容	実績
3. イベント		7. 調査・マニュアル等の作成	
0歳からの親子で楽しむクラシックコンサート	2回(延べ人数 394名)	地域調査	取材3回、ブラジル人青少年(15歳～18歳)延べ30名、スタッフ3名
イベントの開催(啓発活動)	祭2回(述べ参加者1,300人、祭当日述べスタッフ38名) (スタッフ(会員)実人員44名(H20末))	アンケート調査	就労支援事業所 103か所に送付 43件の回答を得た。
定期イベント	12回(月1回) 各30名程度	田んぼにおける調査、学習会実施	20回以上 スタッフ1～2名 延べ参加者50名
落葉を集めて堆肥にする運動	子供会に働きかけゴミ1枚と焼芋の交換、80名、スタッフ10名	日本文化及び現状理解のためのフィールドトリップ	愛知地球博記念公園へ5/17 学習者15人、ボランティア9人
トルコチャイパーティー	参加者150名、スタッフ10名	配布先を再訪し、アンケート調査を実施 携帯式ホワイトボードを提供	配布後の状況や、単談についての意見を伺った。 今後も気軽に単談できるよう、手作りの単談ボードを提供した(のべ50名)。
シンポジウム開催	平成21年7月4日「愛・知・あらいシンポジウム」開催、中学生、高校生43人を含む180人余の参加	映画館バリアフリーマップ作成	作成成果をホームページ上で公開並びに小冊子制作
植樹祭	・モミジ、サクラの苗木を希望者を募って町内の山林に植樹した。 ・町内外から大勢の参加があった。	就業記録の作成	上記学校の出前授業について、就業記録あるいは就業報告書作成
トルコ写真コンテスト	参加者60名、スタッフ15名	テキスト作成	身だしなみ講座に使用するテキストを作成 印刷部数 200部
町内イベント参加 ふゆみずたんぼ紹介展示	1回 スタッフ3名、参加者数百名	8. 事業立上げ・事業環境の整備など	
4. 広報・啓発		プログラム開発	アンケート結果をもとに、身だしなみを学習するプログラムを開発
シンポジウムなどの啓発活動	約50名参加(スタッフ10名は別)	ホームページ開設	
啓発活動	イベントへの参加、講演会(スタッフ延べ15名、参加者延べ10000人) パンフレットの作成、実演、HPのリニューアル	講師選考委員会設置、開催	新規講師7名決定
単談啓発リーフレット作成 (難聴者団体・名身連聴言センター・登委会など)	リーフレット検討委員会7回実施 (各団体2～3名×3団体/回参加) リーフレット1点作成(5000部配布)	シルクスクリーン印刷	スタッフ研修会4回 Tシャツプリント他作成
情報誌作成、配布	100枚程度配布、ブラジル人青少年(15歳～18歳)延べ30名、スタッフ3名	9. 日常活動	
啓発ツール作成	冊子×200部配布	月例清掃活動	草刈、ゴミ拾い、河床のゴミさらえ10回 延べ119人
ボランティアの自己啓発の為勉強会の開催と図書購入	ボランティア学習会の開催 10/5午後 教材用図書の購入25冊	休耕田でのカンザキハナナ、コスモスの栽培	・秋・春を通じて休耕田の有効活用と町内の景観保全に努めた。 ・耕起、種蒔き、草取り等大勢の会員の参加があった。
デザイン、印刷	10種類デザイン、NPO等	交通費	ボランティアの就業交通費 72回(年間)の活動に、延べ参加人数約300人
難聴者が足を運ぶ役所、施設、専門店にリーフレットを配布・設置 (3団体で分担して訪問・郵送)	区役所福祉課、社会福祉協議会、生涯学習センター、補聴器販売店、耳鼻科・内科・接骨院、老人保健施設、障害児学級など。(のべ100箇所)	託児ボランティア活動	9回(託児人数延べ104名)(スタッフ 62名)
港区(外国人)多文化共生防災啓発	①防災体験と防災啓発(保育園)(参加者250名 スタッフ6名) ②1泊避難所体験④防災啓発(参加者50名 スタッフ6名)	青年会議所との合同清掃	草刈、ゴミ拾い、河床のゴミさらえ1回 延べ21人
企業への防災啓発	企業防災あいほう会で防災講座(参加者約30名 スタッフ2名) 同上、アレルギー支援ネットワークと共催(参加者約30名 スタッフ1名)	木藪橋の入口、出口のバリアフリー化にともなう	延べ回数3ヶ所、延べ参加者240名、スタッフ20名
活動報告を会報に掲載 ブログを開設	役員会で活動状況を随時報告し、広報部が会報に記事を掲載した。会員・関係団体に会報を発送。ブログにも活動報告をアップした。	町内花壇やプランターへパンジー、デージー、サルビア、マリーゴールドなどの植栽	・間伐材を子葉した花壇づくりから始め、花の世話は会員の当番制で当たった。 ・町内拠点の環境美化に努めた。
5. 相談		小中学校生保護者との合同清掃	草刈、ゴミ拾い、河床のゴミさらえ1回 延べ33人
福祉職希望者へのキャリアカウンセリング	延べ100件以上の相談を実施。	それにより21年、22年とエチオピア国において植樹活動を行うことができた。	
6. 物品購入・寄贈等		蓮池の管理	・町内の蓮池を整備し、夏には蓮の花見会を開催した。 ・近隣からも大勢の花見客があった。
材料購入	バルーン、ポンプ等材料の購入	食品商品開発	2種類実施、テスト
スクール生用の制服の布地購入	158名分		
教科書購入	236冊		
机、イス、戸棚作成			
給食用燃料、なべ購入			
教室修繕用木材			

H20年度 展開期			
活動内容	実績	活動内容	実績
1. 体験・交流		連続講座	7回(延べ参加者115人)
緑のカーテン事業	朝顔の種蒔き(参加者30名の子どもとその保護者)	夢育日本語教室	日本語教室5日/週、2.5時間/日(前197日実施)1回2名～5名参加、スタッフ4名
菜の花搾油体験	油搾り、菜種油で揚げたドーナツ試食会 共長小学校4年生(約120)参加	講座の実施	講座11回(受講者延べ280名、スタッフ50名)
山村留学 1泊～4泊	1泊2日の自然、山村文化体験×1回(参加者22名) 2泊3日の自然、山村文化体験×4回(延べ参加者96名) 3泊4日の自然、山村文化体験×2回(延べ参加者41名)	セミナー「レッツ農フォーラム」	40名参加
インターンシップ	10人×5 NPO支援センター 延べ日数48日	太陽光発電講習会および学校への設置	講習会1回(のべ参加者25人、スタッフ3人)
現地での事業評価	スタッフ2人+スタディツアー参加者1人、現地カウンターパートスタッフ5人	運転ボランティアへの安全運転教育実施のための指導員体制整備	講習会5回(延べ参加者82名、スタッフ15名) 新規指導員20名誕生し目標の50名体制確立
廃油石けん作り	大府市環境課職員の指導の下、廃油石けんをつくる。 共長小学校4年生(約120名)参加	かくてんぼろ隊スタッフ養成講座	外部講師4人、参加者26人
親子の体験学習	いもほり、たこあげ、盆おどりなど、のべ400人参加	研究会の開催	7回 参加者:会員延べ119名、一般延べ77名
はさかけ米づくり	9回の体験プログラム	名古屋市内の会場で行った学習・活動	講座4回(延べ参加者31名、スタッフ5名程度)
大豆・みそづくり	5回実施	3つのモデル地域での地域との現地訪問及び協議	3モデル地域 各モデル地域各9回、37回、11回
社会見学	愛大祭見学1回(参加者約25名、学生ボランティア約10名) 真の遺産1回(参加者20名、学生ボランティア8名)	海の環境を学ぶ会	平成20年度6回 平成21年度10回319人
山村留学	毎週末の自然、山村文化活動(山村留學生4名)	整備計画策定講座	会員対象に2年間で2回開催、講師依頼、会員参加者延べ23名
団体向け農業体験の企画・実施	農園での体験 6団体 出張授業 5団体	再生機(プレクストーク)の研修	必要に応じて数回
山・海へ赴いた体験合宿による学習・活動	合宿2回(延べ参加者26名、スタッフ5～10名)	講演会	川の環境に関する講演会とパネルディスカッション 来場者110名
まつり体験会の開催	市民対策に2年間で4回開催 市民参加者延べ25名、会員延べ50名、講師依頼	県内6か所で食育料理教室開催 会場:久屋大通公園	開催地:一宮、豊川、豊田、東海、名古屋市内(2か所) 参加者:延べ136名、スタッフ:延べ21名、講師:9名
試食会の実施	3回実施	講演会	2回、来場者計90人
在住外国人との交流 情報提供、相談	6/19、9/16、10/21、11/18延べ4回 対象乳幼児を持つ母親 ベビーマッサージ、お菓子づくり	見学	環境に関する施設の見学
工作	1回(参加者15名、学生ボランティア5名)	職業教育	コンピュータ教室6回 参加5名/回、スタッフ2名
Friends of school	豊橋市内にあるブラジル人学校を2度訪問し、日本文化を伝えながら、児童と交流した(学生ボランティア4名)。	NPO 支援センター ネットワーク研究会	参加者9人、ゲスト6人、スタッフ3人
交流会(全体ふりかえり)	参加者9人、スタッフ3人	生物多様性あいちキャラバンセミナー開催 会場:21年8月)	「カブトムシの寝床づくり」「ハッチョウトンボのいる湿地探検」など。親子など協力(21年8月)
現地報告会	1回(延べ参加者12人)	支援ボランティア研修	江南短期大学の日本語授業法の講座を受講10回×2サークルのべ40人
活動発表	平成20年度2回 平成21年度3回	3. イベント	
大学との交流(20年6月)	愛知学院大学講義実施 まつりの現場として選ばれ、講義(見学、質疑応答)が行われた。准教授、学生24名、参加会員は4名	講演会とシンポジウム及び映画鑑賞会(併催)	参加者300名余 スタッフ8名 ボランティア(学生)8名 映画技術師2名 会場:ウイルあいち
臨床心理士を囲む懇談会	2年間で6回	シンポジウム	参加者が環境のテーマごとに発表し有識者が回答をする。
親子の集い	三角室内ジム購入	資金集めのためにフリーマーケットに参加	寄付をしてもらった家庭用品を販売
地域との交流	七夕祭、市民まつり、子どもフェスタ、国際交流フェスタに出演のべ400人	オープニング会場の充実	大型テント1張、机10脚購入、テント、放送設備レンタル
2. 研修		総括フォーラム	1回、参加者116名
講演会	3回 延べ150人	魚をすくう会	2回、1日につき6または7枚参加、参加児童数計1,050人
デジタル録音講座	講師1名 11回、全会員対象(15名×11)	図画コンクール	2回、応募作品数計840点
講習会	13回 延べ参加人数 190人	4. 広報・啓発	
EMS構築の為の講習会	講習会4回(延べ参加者約50人、スタッフ5人)	一般の方を対象とした堀川下りによる啓発活動	午前・午後の2回(参加者48人、スタッフ6人)
講演会、座談会	講演会2回、座談会1回 延べ参加者50人	矢田川環境マップ作成	20000部 A3で2項カラー 流域に全戸配付
外国人講習会の開催	1回 参加者:会員25名、一般47名、招待3名	講演会によるホテル保護の啓発活動	講演会2回、延べ参加者140名、スタッフ2名

H20年度 展開期			
活動内容	実績	活動内容	実績
エコバック活動(エコバック配布)	エコバック100枚を配布	教材作成	教材作成担当者 延べ20人
桜ウォーキングと漢芸を楽しむ会(以下いずれも啓発活動)	2回、延べ参加者6,500人、スタッフ延べ約500人	遠隔支援システムの説明書作成	「ISL Light機能一覧」、「PICOリモート支援オペレーターガイド」、「PICOリモート支援システムクライアントガイド」、「PICOリモート支援管理システム説明書」等を完成させてPR活動およびシステム利用者配布用に印刷した。
防災啓発事業	出前講座等 7回(延べ参加者約300人)	報告書作成	A4版72頁×300部
講演会、シンポジウムなどの啓発活動	2008年度15講座 1109人参加 2009年度16講座 1022人参加 計31講座、2131人参加	「中間支援協働推進ココロ工帳」作成	B5版10ページ×500冊
広報「矢田川」の発行	2回、延べ25000部	学会活動	修士論文3件、卒業論文1件、学会発表4件(全て会員による)
食育啓蒙活動	春と秋2回「食育検定」実施 参加者延べ800名、スタッフ5名、ボランティア(学生)6名(市と協働)	OD図書作成	50冊(21年度)
アカウミガメ保護のための啓発活動	講演会の実施 1回 講師3人 参加者60人	8. 事業立上げ・事業環境の整備など	
PRツール作成	農体験お楽しみBOOK(A4版)	遠隔支援システムの構築	・リモートサポートサービス「ISL Lieht」契約締結 ・支援実績を管理する「リモート支援管理システム」のソフト改修を行い機能強化 上記2つを連携動作させて遠隔支援システムを完成させた。
利用団体へ配布するリーフレット作成	・「PICOリモート支援システムの概要」、「ボランティア団体向けシステム概要説明」を各200枚作成 ・上記PR用リーフレットを県内の12ボランティア団体に配布し、システムの共同利用を呼びかけた。また県と名古屋市のボランティア活動支援施設の資料欄に配架	里開放ルートの安全確保	ガイドブックスタッフによる安全指導(6/11-6/20:延べ人数28名、スタッフ12名)
基金活動及び講習会を開き災害者救援を呼びかけた(国内)	蒲郡市内の小・中・高学校で講演、三谷小学校、北部小学校、中央小学校、大塚中学校、合計391759円の基金で支援物資と薬品を購入した。	グループホーム入居時の環境調整	体験利用者延べ5名うち1名が正式利用となった。
リモート支援システムの説明会開催	・22年2月6日 日進市にぎわい交流館にて ・22年3月8日 名古屋市nabi/金山にて 延べ参加者28名	里開放ルートの誘導確保	案内誘導看板製作(大看板4基、小看板10基)、ロープ鉄杭50本
名古屋女性会館イーブネットフェスティバルで活動報告と広報活動	2年間で2回活動報告 チラシ2000部、ポスター4枚作成配布	ベスト、帽子作成	各50枚
学会活動	修士論文3件、卒業論文1件、学会発表4件(全て会員による)	海岸への車両侵入防止柵の制作	啓発看板小9基、大3基製作、設置、防止柵の設置3カ所
5. 相談		9. 日常活動	
外国人の子どもの健康相談会の開催	同左11/30保見交流館55名受診 スタッフ参加31名	菜の花の栽培	種蒔き、畑の草とり、菜種の刈り取り、乾燥 共長小学校4年生(約120名)参加
電話相談「がん心のケアほっとライン」の開催	毎週木・金10:00~16:00 祝日休み 2年間で202日開催 479件の電話を受けた。	防犯パトロール	登校時122回/年、下校時185回、夜間42回 349回/年出勤 延べ人数659人
入居者に対する個別支援、相談支援	利用者の地域生活における安定	研究運営会議	6回、毎回約10~15名
進路ガイダンス	1回(延べ30名参加、スタッフ7名)	外国視察・生徒の日本語支援	週4回、2ヶ所で開催、のべ500人参加
6. 物品購入・寄贈等		西の浜クリーンアップ活動	平成20年度12回1052人 平成21年度11回986人
タイの農村の学校に水上図書館を建設し、寄贈	若者を中心に28名が参加	地域住民参加による河川内の草刈り活動	草刈り活動1回、参加者60名
菅井のガーナ国ナブロンゴ地域にスタッフ2名を派遣、現地で医薬品や毛布、蚊帳など調達活動	首都アクラで現地協力団体の協力を得て、支援物資、医薬品を調達し、水源地まで陸路800kmを車で配達、住民に届けた。	清掃奉仕	延べ35団体、延べ1500人
家具固定ボラ活動用施工道具類の調達	助成の年度は25軒の高齢者・障害者宅を実施 翌年は70軒、今年は26軒実施済み	地域連携パトロール	約100回
災害地の中心地ナブロンゴ地域の小学校で被災者約400名の前に支援物資、薬品を手渡し式典を行った。	医薬品2700ケース、化学薬品塗布の蚊帳346帳、純綿毛布 300枚	外国視察・生徒の学習支援	週4日、2ヶ所で開催、のべ10,000人参加
7. 調査・マニュアル等の作成		月別会(毎回臨床心理士を講師として聴き手会員のケル・ブス・ハ・ヒツツも行う)	2年間で24回
自活できるエサ供給体制の整備と調査	植樹カミの施肥・土壌改良による安定結実のための活動、コナラ・シイ・オニグルミなどエサ関係の計測実施、樹木の胸高直径の長期計測(ケル・ブス・ハ・ヒツツによる記録)実施、などをリス研ジュニアクラブの子供・家族を中心にボイスアウトも協力して実施。	外部委託による除草	委託1回、除草区間200m
アカウミガメの産卵、ふ化調査	5月~8月 毎日目視による産卵調査の実施 12名参加 9月~11月 ふ化後の90%の産卵巣のふ化調査の実施 11名	絵本読み聞かせ	毎月絵本を読み聞かせ 計12回
リスの生態調査	巣箱設置、ビデオ装置設置による記録をとる活動を実施、それらの活動を観察会参加者や一般に公開実施。	ボランティアガイド活動(1定期ガイド活動)	名古屋定期ガイドツアー、計27回 ガイド対象外国人:251名、参加会員:延べ222名 産業技術記念館定期ガイドツアー、計24回 ガイド対象外国人:355名、参加会員:103名
大洪水罹災地域を訪問、被害調査活動	滞在3日間で約1850世帯を視察、家屋の土壁が崩れた住民たちを激励しに集合2回(延べ2500人)スタッフ2名	行政・他組織との協働活動の拡大	名古屋都市センター、名古屋緑政土木局、尾張戸神社氏子会、森林公園ゴルフ場、愛知県マッチングによるブランド企業250社との共同活動へと広がったり、その可能性が広がった。
各種の実験	環境に関する実機実験	海岸清掃活動	98人参加(参加者、商品授与) 収集処理ゴミ4.6t
定期調査会	定期調査としてデンドロ計測、湧水計測、鉛筆計測、等により調査、マイクログリッド、発信機を取り付け、テレメ調査などの活動、リスの骨かしり調査等を参加者に公開し、直接体験してもらい、環境教育活動を実施。(毎週土曜日実施)	ボランティアガイド活動(2依頼による随時ガイド活動)	計37回 ガイド対象外国人:355名、参加会員103名
生きもの観察	田んぼの生き物調査2回	食品開発	6品を創作した。
水害対策としての調査、集会を滞在中3回開いた。(延べ1200人)	植樹、乾期野菜栽培など	共同利用希望ボランティア団体への運用支援実施	リモート支援システム共同利用を希望したボランティア2団体に対して運用準備、操作支援等の作業を延べ23回実施
テキストブック作成	500部		

H20年度 協働	
活動内容	実績
1. 体験・交流	
小中学生を対象に人口林間間伐を利用した工作教室 源流域の住民と下流域の住民による意見交換。	H20.11/3、H21.3/15清須の朝市会場で間伐材と竹を利用した工作教室を開催 時間を設けて交流と意見交換(親子17組36人、スタッフ7名)
2. 研修	
合同演習「既存ネットワークの強化と新たな仲間づくり勉強会」名古屋大学(参加者150名)	参加者数42名
3. イベント	
黒壁、梅園ボランティアイベント	ボランティア定員100名のところ、島外から250名のボランティア参加がありました。
連続農業講座シンポジウムの開催	農業講座4回(延べ参加者155名、スタッフ40名)、有機循環推進フォーラム1回(参加者84名、スタッフ20名)
アマモ移植ボランティアイベント	佐久島中学生がデザインしたアマモTシャツを着て、アマモの移植作業を実施しました。参加ボランティア103名
市民への防災啓発活動 ワールドコーポフェスタinみどり	参加者数22名
古墳周辺整備ボランティアイベント	島内にある3カ所の古墳「エベス塚」、「石垣」、「平地」の周辺整備(草刈、清掃)を行いました。参加ボランティア41名。
4. 広報・啓発	
ゴミの分別ゲーム	年2回(受診者50名、スタッフ2名)
広報きゅうい発行	年4回発行、2,000部配布、スタッフ4名
下流域で展開されている朝市の会場にテーブル・イスを設置し、間伐材利用について啓発する。	100㎡間伐材だけで製作されたテーブル6台、ベンチ12脚、イス4脚を設置
ボランティア、NPOフェスタなごや2009 防災啓発展示ブース	参加者数12名
5. 相談	
健康診断、健康相談	年2回(受診者50名、スタッフ60名)
健康診断	年1回、病院にて検査と説明、相談(上記受診者の内18名、スタッフ8名)
6. 物品購入・寄贈等	
7. 調査・マニュアル等の作成	
庄内川の水源地の森の状況を観察、把握する。	「森親子見学会」(親子17組36人、スタッフ7名)
8. 事業立上げ・事業環境の整備など	
田んぼの学校の開催	田んぼに学校5回開催(延べ参加者109名、スタッフ57名)
市民農園の拡大	耕作放棄地に生ごみ堆肥を投入して畑地に再生し、豊明市と協働で山田試験農園を開設し、73区画3156㎡を市民農園として貸出した。
9. 日常活動	
被災地への支援 平成20年8月末豪雨水害支援	参加者数52名
H20年度 安城北中学校選択理科授業担当	3年生クラス28回担当
能登半島地震復興支援(2周年、石川県穴水町)	参加者数12名
H20年度 豊江町立豊江北中学校選択理科の授業担当	2年生クラス10回、3年生クラス16回担当

H21年度 初期(前期)			
活動内容	実績	活動内容	実績
1. 体験・交流		3. イベント	
自然観察会の開催	7回開催(延べ参加者数156名 スタッフ14名)	寄席の開催	年4回(延べ参加者172人、スタッフ19名)
ビブラフォン・カボンの体験会	4回、スタッフ60人、参加者120人	華船造船界・集船会開催	2日間(スタッフ5名、参加者延べ200名)
二胡体験コーナーの設置	音楽会終了後に希望する観客に二胡に直接触れていただき、音の出る楽しさを体験していただいた。(15名)	バリアフリーコラボレーション	コンサート1回、スタッフ70人、参加者200人
ホテル観察会	1回福沢市民大賞 参加者130名 スタッフ50名	華船造船会の開催を予定したが波が高く乗船はできなかった。	スタッフ5名、参加者延べ50名
牛乳パックでアイス作り	大鵬文化祭に展示、21名参加	ふれあいイベント事業	・「霧山台」ぶんかぶらぶらにおいて毎月市リースでスライドショーを開催し、地域住民に作品発表の場を提供した。 ・「押沢台」ギャラリー「羅幻」および「東高森台」「いつだっていま」において、絵手紙・ハンギングバスケットづくりなどを実施した。 ・高森寺ふれあうマップを作成し、地域内における情報発信を行った。
市民を対象とした「100円材料」の体験にボランティアスタッフを派遣した。		4. 広報・啓発	
小学校への協力	学習発表会でアフリカ文化の勉強・音楽の指導に訪問	冊子の作成・配布	800冊作成発行、375冊を関係機関に無料配布(必要な方には頒布)
アトラクション	体操、小物作り	コンクール広報活動	チラシ、ポスターの作成、配布(市内全小中学校および公共図書館)、コンクール審査結果配布(市内全小中学校)
講師を招いて田原市内の里山の自然観察会を実施した。市民緑花祭においてブースで里山保全活動の報告をした。		ごみ減量啓発	小冊子発行→市内各戸配布、広報 機関誌に投稿 分別の仕方など年2回
フレンドシップ交流への呼びかけ	地域の方々へフェアトレードを知っていただくためにワークショップを開催	廃材からの運動道具の試作品を啓発活動	高齢者の能力の活性化となった認知症予防となる。
打合せ	年6回 お知らせの配布	講演・ステージ発表、ブース発表、ヒメボタルサミット参加	講演、ステージ発表では演奏、プレゼンなどを行い、サミットではパネルや実物や模型を展示、ブースではしおり作り、ジオラマ作り。
一人暮らしの高齢者訪問	対象者1名・週に1回友愛訪問	「アレスクールマニュアル」配布	CD1点製作、34枚
町在住の外国人が活躍	町内の外国人にポスターを制作依頼、その後アーティストとして活躍している。	世話談喜事業「愛フェス」への出演	来場者へ積極的PR
2. 研修		トークンプレゼンテーション	東海地方の主要な食品会社が参加しフードバンクの理解を深めた。
市民講座	講座4回(延べ参加者60名、スタッフ10名)	COPIOに関する講演会など啓発活動を実施	スタッフ3名 m参加者35名
ワークショップ企画運営・研修会	研修会2回(延べ参加者100人、スタッフ5名)	遊休農地解消と地産地消を基準にした生産と消費普及	朝市開催 岡崎市民祭延べ40名 商工会議所延べ50名
講演会	1回(参加者35名)会員の研修が主	環境フェス「江南へ出展	江南市民へのPR
国際理解講座の介在	1回/月×12か月 延べ参加者158名・スタッフ5名	学校でのPR活動	金城学院中学校、ニュートン高等専修学校、津島市立産婆中学校
外国人家庭における日本語指導、生活指導	23回、のべ参加者48名、スタッフ1名	5. 相談	
講演会の開催	全体会(基調講演)1回、分科会4回(延べ参加者42名、スタッフ7名)	住宅耐震化、家具など転倒防止相談会の実施	「メイトウの日」「めいとうボランティア展」に出展、住民の方々からス飛散防止フィルムを体験していただいた。
市民体験農園支援(会員派遣)	会員延べ97名	暮らしと住まいのよろず相談事業	毎月テーマを決め、「住まいのよろず相談カフェ」を実施した。
蓮華の家協働保育園指導	会員延べ77名	6. 物品購入・寄贈等	
愛知県岡崎高等技術専門学校指導		7. 調査・マニュアル等の作成	
名東区内各学区の自主防災訓練において「住宅耐震化、家具など転倒防止」の啓発講演を行った。	7学区で実施。延べ千人以上の方が聴講。	前年度実施した「サンテパルクたはら」の里山(A工区)モニタリング調査を実施した。B工区の間伐を実施した。	
後見人養成講座	講座2回(延べ参加者80名、スタッフ10名)	複数家族構成世帯350戸対象にアンケート対面調査	回収可能食油推定量35ml/世帯・月4、市ゴミ回収車年間軽油消費量の73パーセントが大体可能と推定される。
養成講座	全5回コース1回、全8回コース1回	観察会、2か月の毎週の観察、調査	参加者にチラシ700枚配布、観察会では1日で400人に配布
学校内における日本語指導、教科指導	44回 スタッフ2名	河川・海浜水質調査(漁船利用)	調査員2名/調査ポイント5ヶ所 免々里川沖、小中山港出口、高木浄水場沖、汐川(赤石橋右岸)、汐川(田原新橋左岸)
設楽町津具森林組合を視察し林業作業時の安全実技講習を受講した。田原市里山保全アドバイザー養成講座へ講師派遣をおこなった。		ホテルの生息調査	6.7月(2か月)会員全員でデータ集め
現任研修会	2回、聴覚障害者含む40人参加	視察	全国から訪問視察あり、年3回
日本農教室における日本語指導、生活指導	23回、スタッフ2名(のべ参加者140名)	水質調査	町内18か所年4回定期調査(のべ130名)
手洗いの励行について学習会を開く。	園児20名とその保護者が集まり、日本式の手洗いを学ぶ	調査・学習会	学習会72回、幼虫調査2回、延べ70名
カシューナッツの育成について児童に話す。	幼稚園の授業の始めに栽培の大切さを話す。	祖父江ハイクボタルの生態CDの作成	全員が記録した映像を編集
人材育成(会員対象)	会員延べ754名	絵本、本の作成	手作り絵本および「名古屋城ヒメボタルの本」100冊
野菜栽培実習	会員延べ29名		
愛知県総合試験場研修			

H21年度 初期(前期)	
活動内容	実績
8. 事業立上げ・事業環境の整備など	
趣味を活かした「たれでもカフェ」事業	10月の高蔵寺フォークジャンボリーにブース出店し、趣味を活かした手作りクッキーおよびコーヒーやお茶のサービスを行ったほか、毎月開催された「住まいのよろず相談カフェ」においてコーヒーやお茶等を提供した。
家具・家電製品の転倒防止グッズの開発	転倒防止に有効で安価な製品を開発することができた。
図書館を使った“調べる”学習賞コンクールの実施	応募作品数442点、審査員10人、賞状・賞品の配布
障害者の働くパン屋の備品を設置する	大型冷蔵庫を買う
スリランカガラピタマダ村の幼稚園において汚水処理施設トイレを建設	汚水処理施設とトイレ各1基
別の幼稚園において井戸を建設	井戸の再建1基
9. 日常活動	
昼食の提供	年6回
演奏活動	プロ二胡奏者の演奏や出演者130名(うち、一般公募市民68名9)による二胡大合奏を観覧無料で実施した。(観客2,000名、ボランティア30名)
華劇(華の確保)	5回実施(スタッフ5名、参加者述べ80名)
資源回収	1か月に1回開催、来場者平均数1回50名 回収量リサイクル60キログラム、リユース30キロ
建材などの廃材集め。(焼却CO2no減少)	数社の協賛を得る
里山整備事業	参加者300人、スタッフ50人、山道作り、間伐、下草刈、ツリーハウス、テーブル製作、岩場の整備など
河川清掃(豊橋市扇田川飯村地区)	参加人数12名 平成21年12月23日 AM10:00~11:00
防風林の剪定	
COPI0への出演	他団体と協力しCOPI0モリコロステージにて43名の出演
食品の提供を受け配布する事業	平成21年受領実績51.3トン(平成20年24トン)
あま市国際交流協会への参加	COPI0イベントにて広報活動
就農支援(会員派遣) ナス、ブドウ、柿支援	ナス延べ55名、柿延べ27名、ブドウ延べ61名
障害者自立支援	捜査所へ週1回仕事(内職的)、営業、持ち込みなどデリバリー活動
運動遊具をでいざびすなどのレクリエーションに活用	転倒防止や介護予防にも活用できる
2つの幼稚園でココナツの苗を植樹した。	それぞれ7本と3本を植樹。
環境美化(会員派遣) 大西町除草、間伐(木、竹)	大西 延べ18名 木 延べ17名 竹 延べ19名
運動遊具の取納ベンチも考案した	小学生のトワイライトの競技運動具にもなり奉仕活動した。
水資源機構主催の宇連ダム上流の間伐作業に参加した。	
環境美化	公道、公園のごみ清掃(週1回)、障害者の人たちと散策を兼ねたゴミ拾い。
総会、福祉大会、講演会の情報保障	8回×スタッフ数4人=述べ32人

H21年度 初期(後期)			
活動内容	実績	活動内容	実績
1. 体験・交流		3. イベント	
		パイオガス活用講座への参加	22年1月から始まった講座に参加(20回)パイオガス発生装置を作成した
対面活動エコクラフト	緩衝材を活用したボールの作成・廃材を活用した写真立てづくり	アドラー心理学をベースにした親のための講座	子育てにおける親の接し方、自分自身の姿勢を見直し、接し方を学ぶことができた。
体験学習(車いす・高齢者疑似体験等)	体験学習1回(30名)小学生1年～6年生(スタッフ8名)	他団体(HIV関連団体)視察	1件、1名(東京)
自然教室	年間11回の野外での体験教室	脳の血流と認知症について(脳トレーニングが必要)	スライドによる脳の血流について認識、脳トレーニングの効果について、参加人数19名
対面活動ボディペイント	専用絵の具によるキャラクターのペイント	「特別支援の必要な子」の勉強会	東京から経験豊富な先生を迎え午前、午後に講演をいただき、遠方からの参加者も多く、61名の参加があった
竹筏体験	1回(延べ参加者70名、スタッフ20名)	講演会	イベントの中で講師に講演を依頼。参加者80名
鎮守の森の自然観察会	延べ参加者数35名(内スタッフ7名)	夢文庫ピコト店長を招き講演会	遊びながら脳をきたえる教育玩具や教材の紹介をいただいた。もじの覚え方、計算の仕方のわかりやすい方法をおしえていただいた。
水遊び生きもの観察	1回、64人参加	ジュニアセミナー	年6回実施
対面活動折り紙	こま、猫、動物等を作成指導 合計対面活動20回 延べ参加者862人	NPO法人どんぐりモンゴリ	どんぐり授業、植樹指導、幼稚園小学校、7回延28名
観察会 干潟観察(森前)、里山観察(大府)	2日 延べ参加者62名	スタートアップ研修(実務活動)	認知症予防活動と地域の取り組み、参加人数19名
里山分校	年6回実施		
リフレッシュ会	月1回、年間に12回開催、参加者180名(のべ)、スタッフ30名	ワールドコロナフェスタ2009(オアシス21)	参加者数約2,700名、スタッフ32名
親同士の交流会	子育ての悩みや対応について話し合い、他の親の子育てから学ぶことができた。親交を深めることができた。	子育て応援プログラム	2歳児コース3回、3歳児コース3回実施、延べ参加者79人スタッフ7名
ワークショップ発表会 森前干潟、ニッ池せしめナ2ステージ	左記ワークショップ開催中2日間観客延べ150人	演劇ワークショップ 森前干潟、大府市ニッ池せしめナ	2会場8日間(延べ参加者25人、スタッフ9人(ボランティア含む))
岐阜県坂祝町災害ボランティア団体との泊研修交流会	交通費補助7名	アルミ缶国旗アート展示会愛知県美術館	1回(作品展)(延べ参加者1,500名)スタッフ30名
HIV感染者、交流会	延べ30回開催、各交流会延べ10名参加、3名スタッフ	シンポジウム、パネル展	40人
2. 研修		ゴミ釣り大会	のべ参加者50名、スタッフ5名
ピアサポーター養成1日ワークショップ	参加者38名、がん患者10、NS10、支援する人18	ファミリーキャンプ	1回、キャンプ場、参加74名、スタッフ12名
講演会	3回、市民会館、参加人数500人、スタッフ11人	アルミ缶国旗アート制作会	5回制作者193名
講習会 こどもの事故に対する予防と応急手当の普及と啓発	講習会2回(延べ受講者24人、スタッフ14名)	まちづくりと自然エネルギー パネル展	2010.1.13-24、360人
講演会	講演会3回(延べ参加者90人、スタッフ10名)	野外映画会および写真展伊勢湾台風等の資料展示	1回(延べ参加者450名、スタッフ50名)
講演会(勉強会)	講演会(勉強会)3回、延べ15名の参加者、スタッフ5名	防災ボランティアフォーラム(アスナル金山)	参加者数370名、スタッフ58名
鎮守の森の整備のための道具講習会	延べ参加者数20名(内スタッフ5名)	シンポジウム	1回(のべ参加者30名、スタッフ3名)
「認知症はこんな病気」講演 予防と早期発見	講師「佐藤裕紀氏」参加人数20名	4. 広報・啓発	
特別支援員の派遣	桑田小、羽黒小学校に毎日1～2名支援活動に入ってもらった。スタッフ数18名。	啓発ツール作成	パンフレット1,000枚製作、学習テキスト1,000部製作、体験学習募集案内400枚配布
講演会	講演会1回(参加者300名、スタッフ15名)	PR用チラシ作成	5000枚配布
イベント会場や専門学校での講演:介助士のデモンストレーションPR活動	講演5回、しつけ教室	シンポジウムチラシなど作成	ちらし1000枚印刷(印刷費1万円)
シンポジウム・講演会の開催	参加者45名、スタッフ10名(講師謝金2万円)	展示、広報活動	日進エコフェスタ他3回展示
講演会	参加者80名(内専門職33名)	上演パンフレット	約120枚配布
どんぐり授業開催	小学校、当地域にて開催、3回延36名	講演および展示啓発	講演1回、30人、展示2回(行政と協働)、のべ1,000人程
災害ボランティアコーディネーター設置・運営向上訓練(国際会議場)	市内全域から190名参加者	活動紹介、啓発等講演会開催、機関誌発行	講演会1回(参加30名、講師1名)、機関誌(季刊)4回発行
子育てママのリフレッシュ講座	ママ編2回実施親子編1回実施、延べ参加者28人スタッフ9人	広報誌作成・配布	600部印刷、関連イベントにて500部配布
認知症の早期発見実技指導	認知症を早く見つける為の各種判定方法の実技指導(本会講師)、参加人数18名	地域活動の取り組みについて(活動普及)	活動を地域でどのように普及すれば良いかの方法を取得、参加人数17名。
「子ども・子育てキャリア支援者養成講座」の受講	あいち・子どもNPOセンター主催の講座(5日間、10講座)に2名参加。支援者認定証をもらう。	勉強会チラシ作成	ポスター10枚、チラシ2,600枚作成し近隣市町村の教育委員会へも呼びかけ、勉強の必要性をアピール

H21年度 初期(後期)			
活動内容	実績	活動内容	実績
5. 相談		9. 日常活動	
教育相談会	11人、22回の相談、スタッフ2名	登山路の草刈、処理	毎月第1、第3日曜日
6. 物品購入・寄贈等		草刈り作業	草刈り(50名×5回/年間)
脳機能障害などの専門書の購入	支援ボランティアの人達へ、専門知識の習得や、子供への授け方について学んでもらった	どんぐりの育苗、植樹。	育苗2,500本、どんぐりの授業、モリコロパーク等へ1500本提供、150本余山へ植樹
7. 調査・マニュアル等の作成		BT作戦 ごみ拾い	1回 トラック4台分のごみ収集(延べ参加者200名、スタッフ10名)
水源地調査	1回、22人	落葉清掃、竹林伐採	落葉1回(参加者11人)、竹林2回(参加者24人)
水質測定	2ヶ所、スタッフ22人参加	生活保護申請同行	約40件
「女性だからできること」冊子作成	3,500部	古民家内部の清掃活動	6回(可燃ゴミ)、1回(不燃ゴミ)
バイオガス活用講座実施のまとめ	新盛里山耕流塾の講座に参加して、その内容を冊子(500部カラー)にまとめた	川の清掃活動	のべ5回、66人参加
バリアフリー素材DVD製作	上映会3回(延べ参加者100名) 講演発表会2回(延べ参加者150名) 防災イベント参加2回(参加者特定できず)	枯木、倒木の処理	毎月第1、第3日曜日
8. 事業立上げ・事業環境の整備など		蚕の幼虫の放流	会員3名の各自宅で孵化した幼虫を6月末に放流
アルミ缶回収BOX	6個作成	樹名板作成・設置	作成5回(約350枚)、設置2回(約150枚)
ホームページの作成	HPからの団体参加者(延べ20名)、相談件数(延べ120件)	社会保険協会への申請支援	家族療養費1名(海外診療のケースで6か月位要した)、出産費等の申請→育児休業給付まで1名
		親子子育て支援サークル	月2回、年間12回開催、参加者100名、スタッフ10名
		表山の竹伐採	3回
		カメの住民票づくり	のべ参加者50名、スタッフ25名
		運営協力者	延べ参加者300名、4団体、スタッフ70名、父兄100名
		動植物の保護	進入禁止の柵を設置
		日本庭園管理(除草、松こも巻き、松葉敷等)	3回実施(参加者50人)
		入院補助・面会・差し入れ	5名へ面会、差し入れ、回数は延べ19回
		菜の花畑	100㎡
		ベビーマッサージ	月1日、年間12回開催、参加者120名(のべ)、スタッフ10名
		鎮守の森の整備活動	
		庭石の除去作業	重機を入れての作業2回
		井戸掘り	のべ参加者40名、スタッフ25名
		展示パネル、地図制作(製作費)	展示パネル8枚、地図8種制作(7万円)、スタッフ10名
		COPIOパートナーシップ事業	モリコロパークでの植樹応援、3日延15名
		側溝清掃	1回実施(参加者13人)
		河川清掃	2回(延べ参加者80人スタッフ10名)
		展示パネル、地図制作(印刷費)	展示パネル8枚、地図8種の印刷(20万円)スタッフ10名、パネルはイベントで展示、地図は参加者に配布。
		兵庫県作用町緊急救援参加	交通費補助8名
		特別支援教育支援員の配置を名古屋市内に	4月23年度予算決定すれば名古屋市内1区に1校支援員を配置、選挙に要請(公明党加藤議員)訪問
		労働基準監督署への申告等同行	賃金未払申告10名、立替払申請18名

H21年度 展開期			
活動内容	実績	活動内容	実績
1. 体験・交流		2. 研修	
自然、山村体験活動1泊～4泊(都市部むけ)	年間21回(のべ参加人数259人、講師・村内のお手伝いのべ5人)	講座	一般参加25名、スタッフ7名(平均)6回
フィールド実働事業 里山体験	のんびりまつり2回(延べ参加者203名、延べスタッフ20名) 子ども会受入れ1回(参加者57名、スタッフ10名)	子どもの日本語支援(外国籍)	週4回、2ヶ所で実施。のべ約500人参加。日本に来て間もない子にとって効果あり
小学生向け体験講座(MCふれあい講座)	44日、119講座開催、ボランティア(アシスタント)のべ279名 講師のべ123名 参加者のべ1867名	豊川市立御津中学校	教員向けセミナー16名
森林・農村へ赴いた体験型合宿による学習・活動	合宿2回(延べ参加者46名、スタッフ5～20名)	外国人講演会の開催	1回 参加者:会員32名、一般72名、招待10名
◎公暮した子どもたちと夏休みの観察会	50人参加 日本カメ自然誌研究会 水辺研究会から協力を得る	あいち防災リーダー養成塾の開講	4日間、受講生52名(延べ200名)、スタッフ延べ25名、修了者44名、一部欠席は、次年度受講
出前ワークショップ 小さな兄弟がいたり、移動手段の関係などでなかなか私たちの活動フィールドに来られない子どもや家族の方にこちらから出向いて、自然の楽しさを感じてもらった。	子ども会、行政などからの要請を受け、身近な地域の雑木林で、ひろったドングリを使ったドングリ料理、集めた草花を煮出して作るエコバッグ作り、間伐と清掃を兼ねた個性的な秘密基地作り、たけとんぼや木笛を作るなどの出前ワークショップを予定通り6回開催しました。(延べ参加者数500名、スタッフ10名)	講演会	4回(延べ191名、スタッフ4名)
里山林の診断	カルテ作成 講師2人 参加者25人 スタッフ5人	講演・シンポジウム、ソーシャルフィナンズ研究会等。	4回、延べ183名
自然、山村体験活動日帰り(村内むけ)	年間19回(のべ参加人数264人)	防災講演会「地域で障害者・高齢者を助けられるか? 助けてもらえるか?」	6月20日実施 参加者42名
伝統食継承事業 のんびり風土:Food	伝統行事、伝統食を体験2回 延べ参加者50名 延べスタッフ20名	課題共有のための全体研修会	1回、参加者23名
NPOの資金調達に関する体験プログラム	3回、延べ53名。	出前授業の実施	延べ20校の30授業に当フォーラムの講師を派遣し、授業を行った
川の学校(まちづくり市民会議環境委員会と共催、親子で川遊び)	7/26開催 参加者子ども92名 大人75名 ボランティア5名	ボランティア・ガイド養成のための研修会の開催	9回 参加者:会員のべ189名、一般のべ75名 当団体の事業地やパートナー団体の子どもたちがフィリピン各地8ヶ所で行ったワークショップに参加し、自分のコミュニティの現状について振り返り、それぞれのコミュニティの抱える課題について話し合った。
森林へ赴いた指導者向け1日スタディツアー	1回(参加者12名、スタッフ5～10名)	ノンフォーマル教育ワークショップ	
◎〇〇P10関連イベントへの参加	国際生物多様性の日 オアシス21でのブーススタッフ8名参加	認知症ケアの各手法(4手法)を学ぶ地域研修会	全8回、参加者数延べ236名
海の見学会	ヨットで佐久島へスナメリウオッチング20名	行政関連、公園施設子どもワークショップ	7回、平均参加者50名合計350名ほど
表の学校(同上委員会と共催、自然とふれあう10講座、高校生による「パネルシアター 器楽演奏」)	11/3開催 参加者子ども241名 大人50名 ボランティア(高校生ふくめ)50名	講演会	2回、来聴者計90人
子どもの保護者の体験学習	いもほり、たこあげ、盆おどりなど、日本の文化の体験を親子で実施。のべ400人参加。	蒲郡市立蒲郡中学校中学2年セミナー	参加者129名「目標をもとう」
グリーン・スクール事業(森や水の恵み、自然と人の係り等を「水本沢天然材」で探訪と学習、初歩的除伐作業体験)	実施日(夏休み)1回、参加者38名、木祖村	環境学習	川の生き物調べ 講師3人 参加者20人 スタッフ10人
国際児童年記念認定別活動子どもワークショップ	8回、平均参加者40名合計320名ほど	総括研修会	1回、参加者70名
地域との交流	七夕祭、市民まつり、子どもフェスタ、国際交流フェスタなどに出演。のべ約400人参加	学校、学童関係子どもワークショップ	5回、平均参加者40名、計200名ほど
愛知万博に派遣された同国の担当官と再会して、今後の現地のキャッチアップの組織構築。	担当官達と空港ホテルで再会、旧交を温めた会議や贈呈式に列席してカメラ・ビデオ撮影を担当して活動をサポートしてくれた。	支援ボランティアの研修	江南短期大学の日本語教授法の講座、10回×2 サークル受講40人
日・ベ食の交流	市内在住のベルー人と里山での食の交流 講師3人、通訳4人、参加者50人、スタッフ10人	ニートの保護者向けセミナー	参加者5名 親(ひきこもりニート)のためのセミナー
元気高齢者レクリエーション	2ヶ所、1回、延べ200名、3名のボランティア	まちづくり他子どもワークショップ	5回、平均参加者60名、合計300名
ザンクスフェスティバルへの参加(さつまいもクッキング、子供エコリサイクルマーケット)	10/24開催 参加者子ども ボランティア10名	講演・講習会 環境保護環境改善について	講演・講習会2回(のべ参加者80名・スタッフ5名)
		子どもワークショップ	市内在住の小・中学生対象身近な生き物調べ 講師3人、参加者20人、スタッフ8人
		教師研修会への講師派遣	平成21年8月5日西春日井市地区校長等4校研修会中西久枝講師、11月18日豊田地区校長会、加藤延夫講師
		講師研修	5回、年間参加講師258名
		エクスカージョン	水産試験場などの見学30名×3

H21年度 展開期			
活動内容	実績	活動内容	実績
3. イベント			
プレーパークの開催	金曜・土曜・日曜・真休み年間87日開催 参加者数のべ2970人	地域で支え合うための災害時要保護者サポートブック作成	2,000冊発行
里山まるごと探検隊 里山ルネッサンスが作り受けて維持 保全している田畑や雑木林・竹林に 一般市民の子どもや親を招待し、季節に 応じて人と自然の心地よい関係を感じる イベントを実施しました。	まず稲作体験では春の田起こしから始まり田植え、稲刈り、脱穀、初すりま でを体験・お米作りの苦労と大切さを体験しました。また、畑作体験、雑木林 整備活動などの里山保全活動を会員と一緒にしたり、「雑木林を空中散歩し よう(ロープで木登りなど)」、「竹林整備のご褒美はタケノコ料理」、「雑木 林に秘密基地を作ろう」、「山菜を食べ戻そう」「落ち葉スキー」「里山にあ る材料で工作」「ガサガサゴソゴソ小川の生き物調べ」など自然の恵みを満 ちむプログラムを予定通り12回実施した。 (延べ参加者数500名、スタッフ10名)	各手法をとおように研修したかを共有する ための資料作成	100部
絵手紙大会	愛知県とフィリピン各地の子どもたち約5,000人が「私の僕の楽しい嬉しい 瞬間」と題した絵手紙を交換	サポートブック検討会分業別・原稿の推こ う	分業別に障害者との検討会、3回の校正など
8. 事業立上げ・事業環境の整備など			
環境フォーラム第3回「COPI0について」 第4回「自然の恵みを守る」 第5回「多自然川づくり」 パブリック・ポスター	第3回COPI0実行委員会事務局次長津田孝男氏 第4回愛知県環境部自然環境課課長石田晴子氏 第5回愛知県建設部河川課長伊東和久氏 参加者との意見交流3環境フォーラム延べ参加人数220名	「こども環境大学」第1期 こども達への環境への啓発と喚起	真休みを利用、環境の社会的枠組みを見学と観察体験することで、子供の 歌声を育むことが重要として実証する。三菱東京UFJ銀行基礎生物学研究 所(岡崎)延参加者 東京大学演習林、NHK名古屋放送局125名
オープニング会場の充実	大型テント1張、机10脚購入、テント、放送設備レンタル	講師選考委員会設置、開催	新規講師7名決定
シンポジウム開催	平成21年7月4日「愛・知・みらいシンポジウム」開催、中学生、高校生43人 を含む180人余の参加	里開放ルートの安全確保	ガイドマントスタッフによる安全講座(6/11-16/20:延べ人数28名、スタッフ 12名)
回画コンクール	2回、応募作品数計840点	里開放ルートの誘導確保	案内誘導看板制作(大看板4張、小看板10張)、ロープ鉄杭50本
安城市民防災フェア災害時要保護者 カフェ「要保護者と地域防災」	12月13日カフェ・要保護者サポートブックパネル展示参加者84名	苗木センター倉庫建設	建設用木材、草屋根材、トタン屋根、基礎ブロック、木の扉、防水塗料、大 工賃など76万円
4. 広報・啓発			
9. 日常活動			
桜ウォーキングと演奏を楽しむ会(以下 いずれも啓発活動)	2回、延べ参加者6,500人、スタッフ延べ約500人	植樹活動	カンボジア伝統樹コキ400本、3日間、のべ参加者48名スタッフ5名
外国人へのインタビュー、進路情報誌 としてまとめる。	300冊作成、学校(中学校、ブラジル人学校)へ配布、日本語学校で活用。	県道アダプト活動年4回	あいちパートナーシップ事業(上野田名古屋線)180名 3月6日9月12月、学生、シニアクラブ 県道中央分離帯へのボーイ捨てがなくなりはじめた。 年1回9月建設費より2600mが清掃される。
講演会、シンポジウムなどの啓発活動	2008年度、15講座、1109人参加 2009年度、16講座、1022人参加 計31 講座、2131人参加	おかしな日曜塾	毎週金曜は菜園住宅集会所。 毎回スタッフ12名(約)小学生25名受入。午後2時～6時まで。
団体向け農業体験の広報・実施	農園での体験6団体(回)、出張授業4団体(回)	ため池管理	池干し実施 講師3人 参加者40人 スタッフ10人
講演会によるホテル保護の啓発活動	講演会2回 延べ参加者140名、スタッフ2名	水源地域の鳥獣被害防止緩衝帯の整備 (長野県木祖村のヒノキ林と温床林で除 間伐を実施)	作業実施日1日、参加者116人
啓発プレート	苗木用収納倉庫建設、シェアリアップ教員養成学校敷地内	清掃奉仕	延べ35団体、延べ1500人
満都市民生委員ニート啓発セミナー	開催9回参加者148名	子どもの学習支援	週4回、2ヵ所まで実施、延べ約1000人参加、学校での学習で分からないところ の補充
学校防災啓発(講演・教室)	昨年実施校8校+新規5校=13校(参加者延べ約5,000名、スタッフ50名)	みんなの日曜塾	毎週日曜午前10時～12時、子ども母国語教室毎回12(名)、親日本語教 室毎回15名～20名。
啓発ツール作成		KOREA-子どもたちの遊びの広場	6回(延べ60名のボランティア)
広報きゅうり丸発行	年4回発行、2,000部配布、スタッフ4名	“名水”の集水地域の除・間伐作業と林床 整備(木祖村小木曾地区のカラマツ林、ヒ ノキ林)	実施日1日、参加者61人
◎環境デイなごやでのブース出展	生き物などの展示や生き物のワークショップ参加者100名ほど	地域住民参加による河川内の草刈活動	草刈り活動1回 参加者60名
COPI0イベントへの参加	1年前イベントで地元食材紹介など	ボランティア・ガイド活動 (1)定期ガイド活動 里山の維持保全活動	名古屋定期ガイドツアー、計30回 ガイド対象外国人:のべ244名、参加会員:のべ328名 産業技術記念館定期ガイドツアー、計18回 ガイド対象外国人:のべ71名、参加会員:のべ145名
環境紙芝居クリーン劇場とバイオリン 演奏3回、小学生低学年の環境啓発	手作り紙芝居、出前授業で小学生1クラスに絵を書いてもらいこれを紙芝居 にして児童館、公共施設での講演。バイオリンは名古屋芸術大学のバイオ リソクラブの学生、延参加人数後30名	地域防災への展開	7地域(参加者延べ5,000名、スタッフ延べ40名)
サポートブックの配布・活用先	会員900、協力団体10、関係機関・町内会79×3冊、民生児童委員208× 2、報道関係11などに配布	あいちムジック会	2回(1回旅行、お楽しみ会)延べ43名、20名のボランティア
5. 相談			
個別NGOの課題解決サポート	8つのNGOより応募があり途中団体の事情で中止した1つの案件の他7案 件についてサポートを完了した。会計・労務:2件、資金調達2件、組織運営: 1件、広報・IT:1件、会員管理:1件	森林整備とクマの剥皮防止対策(長野県 木曾町戸主地区町有地ヒノキ林にて除 間伐)	実施日2日、参加者延べ144人
進路ガイダンスの実施。	延べ参加者50人、スタッフ7人	外部委託による除草	委託1回 除草区間200m
健康診断、健康相談	年2回(受診者50名、スタッフ60名)	名古屋市内及び岐阜市内の会場で行った 学習・活動	講座3回(延べ参加者36名)、スタッフ5名程度
健康診断	年1回、病院にて検査と説明、相談(上記受診者の内18名、スタッフ8名)	魚をすくう会	2回、1日につき6または7枚参加、参加児童数計1,050人
ゴミの分別ゲーム	年2回(受診者50名、スタッフ2名)	ボランティア・ガイド活動 (2)依頼による随時ガイド活動	計39回 ガイド対象外国人:のべ714名、参加会員:のべ558名
6. 物品購入・寄贈等			
現地で20フィートコンテナで送った教育 支援物資の確認と教育支援贈呈式 の実施	ムベア市キエラのNGO LUWADAIに送った、20フィートコンテナの教育支援 物資は確認できず、搬行した教育支援物資を100名に渡した	炊き出し訓練参加(ハンソ利用)	5回 クリーンキャンペーン2回、一泊研修2回、多文化1回(参加者750名、 スタッフ延べ30名)
植樹用具	リヤカー1、二輪車2、鋸20、肥料10袋、斧5、スコップ10、苗木保護帯 400個20万円、植樹管理費15万円	林道整備(長野県王滝村有林内支障木 除去と温床林の除・間伐)	実施日1日、合計1.6km、参加者31人
7. 調査・マニュアル等の作成			
現地で2年後の校舍建設を計画の現 地確認調査・校舍建設調印式等	学校計画は、中流子女の営利目的と判明、孤児達の支援の当法人は参加 を断念、第2期計画のムンザマヤにNGO AWOの職業訓練学校の校 舎を建設した。2月17日開校を行う。	第4回矢田川-寄清掃作戦 矢田川水質モニタリング小学生 家具固定活動	第4回矢田川-寄清掃作戦11月29日 参加人数110名、企業、行政 矢田川水質調査参加後80名、高校生36名、小学生44名、 6軒(西光寺、老人会、民生、達倫、自主防)(対象家屋6軒、スタッフ延べ15 名)
①山崎川いま・むかし 冊子印刷	1000冊制作	不登校の児童生徒、保護者向けの居場所 事業(「ひだまり」と「ひだまりサロン」)	電話相談件数15件、面談件数3件
授業記録の作成	学校の出前授業について、授業記録あるいは授業報告書作成		

H21年度 協働			
活動内容	実績	活動内容	実績
1. 体験・交流		6. 物品購入・寄贈等	
2. 研修		7. 調査・マニュアル等の作成	
団体育ちあいセミナーの開催	講義・グループワーク形式で5回開催 (延べ参加者数120人、スタッフ5人)	先達地視察	桜の保全・管理の先達地である、福井県大野市の「おおお桜守の会」との視察・交流会を行った。会員25名の参加があった。
講習会	3回実施	ビオトープ型の稲作の試行(愛知池直下流右岸約200㎡)	無農薬・無化肥、不耕起での稲作の水生生物調査、子供・親子での田植、稲刈、メダカ、どじょうの育成。これらは東郷町主催の文化祭で配布。
傷病猛禽類取り扱い講習会	参加者のべ21名、スタッフ2名	8. 事業立上げ・事業環境の整備など	
外国籍児童生徒の適応指導	100授業時間	9. 日常活動	
環境教育(中国 内モンゴル)	現地小中学校(延べ参加者1,540名、スタッフ7名) 現地教師(延べ参加者168名、スタッフ7名) 現地地域住民(延べ参加者42名、スタッフ4名)	ワシタカ類の保護活動 傷病鳥の治療、飼育、放鳥	収容数 20羽、放鳥数21羽、年度末時点での飼育数19羽
環境教育(国内)	中学校(延べ参加者120名、スタッフ3名) 小学校(延べ参加者90名、スタッフ2名)	小学校英語活動の協働授業	400授業時間(1授業時間は45分)
3. イベント		内モンゴル沙漠化防止活動	植林ツアー(延べ参加者29名、スタッフ3名)
黒壁、梅園ボランティアイベント	ボランティア定員100名のところ、島外から250名のボランティア参加がありました。	H20年度安城北中学校選択理科授業担当	3年生クラス28回担当
アマモ移植ボランティアイベント	200個の麻ボットでつくったアマモの草の移植作業を実施しました。参加ボランティア69名。	愛知池地内での植樹(祭)及び樹木の管理	近隣の子供会、家族など200余名で植樹、デンソー側との協働による桜並木の植付。それら樹木の除草刈り、害虫駆除などの管理。
支探製菓・参加団体のPRイベント	大型ショッピングモールのステージでの発表 (参加団体数32団体、スタッフ5人、ボランティア15人、来場者 買い物客等 島内にある2箇所の古墳「エベス塚」、「平地」の周辺整備(草刈、清掃)を行いました。参加ボランティア42名。	桜のひこばえ切り活動	11月と2月に合計2回、五稜川流域区民の協力得て、桜の育成を妨げる「ひこばえ」の除去を行った。
古墳周辺整備ボランティアイベント	プロアマ各め全8チームの太鼓チームがボランティア出演し、観衆500人を集めた大盛況でした。	H20年度 蟹江町立蟹江北中学校選択理科の授業担当	2年生クラス10回、3年生クラス16回担当
太鼓フェスティバル2009		竹のまん延を押し止さるための伐採作業	昔の植生を残しているところへの竹の進入を抑止するため、4~5千本の竹の伐採
4. 広報・啓発		桜への施肥活動	グリーンバイル(根元に打ち込む肥料を1,300本、ステミックス(幹に打ち込む肥料)を100本打ち込んだ。
啓発ツール作成	環境教育パンフ(国内)A4版(4A~7A)1,000部 環境教育 CD1点制作 環境教育パンフ(モンゴリ語)A1版(4折)2,000部 学生植林体験感想文集(両国語)毎年 各1,000部 子ども国際交流フェスティバル(参加者200名)	H21年度安城市立安城北中学校選択理科の授業担当	3年生クラス20回担当
啓発活動 沙漠化の現状と活動紹介 モンゴリ書体体験、文化交流	触れようモンゴルの世界(参加者250名) 国際交流フロイデまつり(参加者300名) モンゴルのナードム(参加者250名)	池周辺道路沿いの花壇づくり	道路沿い2~30㎡余りの区間での草花、アジサイ、ソバ、ケナフ等を植栽
広報誌発行	広報誌「桜たより」発行。(2回)保存会の活動を市民の皆さんに周知した。「桜たより」を市民特版としてカラーで製作し、岩倉市内全戸配布を行った。	桜の枯れ枝剪定	7月~11月にかけて、合計7回、桜の剪定活動を行い、桜の保全、景観保護に尽力した。
愛知池を源流とする前川の水質改善のための流域住民の啓蒙	前川及び支流のCOD、菌肥態窒素の毎月の測定を流域住民約300世帯への啓蒙のためのリーフレット配布5回実施。	H21年度蟹江町立蟹江北中学校選択理科の授業担当	3年生クラス14回担当
5. 相談		H21年度長久手町立長久手中学校選択理科の授業担当	3年生クラス14回担当

問8 助成対象事業の効果

影響や波及効果があったとする項目	※複数回答可										合計
	参加者、想定受益者の意識や行動が変わった		地元住民や地域に変化が起きた		行政、企業、その他NPOなど協働・共催相手に変化が起きた		それ以外で、社会的に意味のある変化が起きた		無回答		
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	54	34.84%	41	26.45%	36	23.23%	24	15.48%	0	0.00%	155
H20初期(前期)	24	32.00%	20	26.67%	18	24.00%	13	17.33%	0	0.00%	75
H20初期(後期)	25	41.67%	14	23.33%	10	16.67%	11	18.33%	0	0.00%	60
H20展開期	35	39.77%	21	23.86%	18	20.45%	14	15.91%	0	0.00%	88
H20協働	6	35.29%	4	23.53%	5	29.41%	2	11.76%	0	0.00%	17
H21初期(前期)	20	25.97%	23	29.87%	19	24.68%	15	19.48%	0	0.00%	77
H21初期(後期)	26	32.10%	20	24.69%	21	25.93%	14	17.28%	0	0.00%	81
H21展開期	28	33.33%	25	29.76%	17	20.24%	14	16.67%	0	0.00%	84
H21協働	7	31.82%	5	22.73%	7	31.82%	3	13.64%	0	0.00%	22
合計	225	34.14%	173	26.25%	151	22.91%	110	16.69%	0	0.00%	659

問9 助成金申請時に目指していた効果と実際の効果の比較

影響や波及効果があったとする項目	※複数回答可										合計
	目指していた以上の効果		目指していたとおりの効果		目指していた効果は一部未達成		目指していた効果はかなり未達成		無回答		
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	28	36.84%	33	43.42%	11	14.47%	4	5.26%	0	0.00%	76
H20初期(前期)	11	35.48%	15	48.39%	5	16.13%	0	0.00%	0	0.00%	31
H20初期(後期)	6	17.65%	19	55.88%	8	23.53%	1	2.94%	0	0.00%	34
H20展開期	16	38.10%	21	50.00%	5	11.90%	0	0.00%	0	0.00%	42
H20協働	2	33.33%	4	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	12	41.38%	12	41.38%	5	17.24%	0	0.00%	0	0.00%	29
H21初期(後期)	13	38.24%	16	47.06%	4	11.76%	1	2.94%	0	0.00%	34
H21展開期	18	52.94%	11	32.35%	5	14.71%	0	0.00%	0	0.00%	34
H21協働	2	25.00%	5	62.50%	1	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	108	36.73%	136	46.26%	44	14.97%	6	2.04%	0	0.00%	294

問10 助成は、団体自身においてどのような効果があったか

問10 助成の団体における効果

①事業の立ち上げに役立った

	そう思う		ある程度思う		あまり思わ		全く思わない		わからない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
	H19初期	44	57.89%	20	26.32%	4	5.26%	3	3.95%	1	1.32%	4	
H20初期(前期)	19	61.29%	5	16.13%	2	6.45%	0	0.00%	0	0.00%	5	16.13%	31
H20初期(後期)	16	51.61%	7	22.58%	4	12.90%	0	0.00%	1	3.23%	3	9.68%	31
H20展開期	13	30.95%	10	23.81%	6	14.29%	2	4.76%	0	0.00%	11	26.19%	42
H20協働	5	83.33%	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	15	51.72%	6	20.69%	2	6.90%	1	3.45%	0	0.00%	5	17.24%	29
H21初期(後期)	21	61.76%	2	5.88%	3	8.82%	1	2.94%	3	8.82%	4	11.76%	34
H21展開期	19	57.58%	5	15.15%	4	12.12%	2	6.06%	0	0.00%	3	9.09%	33
H21協働	5	62.50%	2	25.00%	0	0.00%	1	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	157	54.14%	58	20.00%	25	8.62%	10	3.45%	5	1.72%	35	12.07%	290

②事業の質が向上した

	そう思う		ある程度思う		あまり思わ		全く思わない		わからない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
	H19初期	31	40.79%	37	48.68%	4	5.26%	1	1.32%	1	1.32%	2	
H20初期(前期)	15	48.39%	14	45.16%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.23%	1	3.23%	31
H20初期(後期)	13	41.94%	12	38.71%	4	12.90%	0	0.00%	2	6.45%	0	0.00%	31
H20展開期	23	54.76%	17	40.48%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	4.76%	42
H20協働	4	66.67%	2	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	13	44.83%	13	44.83%	1	3.45%	0	0.00%	0	0.00%	2	6.90%	29
H21初期(後期)	24	70.59%	5	14.71%	1	2.94%	0	0.00%	2	5.88%	2	5.88%	34
H21展開期	25	75.76%	6	18.18%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.03%	1	3.03%	33
H21協働	5	62.50%	2	25.00%	0	0.00%	1	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	153	52.76%	108	37.24%	10	3.45%	2	0.69%	7	2.41%	10	3.45%	290

③事業規模が拡大した

	そう思う		ある程度思う		あまり思わ		全く思わない		わからない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
	H19初期	20	26.32%	31	40.79%	19	25.00%	3	3.95%	1	1.32%	2	
H20初期(前期)	11	35.48%	13	41.94%	6	19.35%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.23%	31
H20初期(後期)	8	25.81%	10	32.26%	8	25.81%	3	9.68%	1	3.23%	1	3.23%	31
H20展開期	17	40.48%	15	35.71%	6	14.29%	0	0.00%	0	0.00%	4	9.52%	42
H20協働	2	33.33%	3	50.00%	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	12	41.38%	9	31.03%	4	13.79%	0	0.00%	0	0.00%	4	13.79%	29
H21初期(後期)	20	58.82%	6	17.65%	5	14.71%	0	0.00%	1	2.94%	2	5.88%	34
H21展開期	17	51.52%	10	30.30%	4	12.12%	0	0.00%	0	0.00%	2	6.06%	33
H21協働	4	50.00%	1	12.50%	2	25.00%	1	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	111	38.28%	98	33.79%	55	18.97%	7	2.41%	3	1.03%	16	5.52%	290

④行政や企業との関係が深まった

	そう思う		ある程度思う		あまり思わ		全く思わない		わからない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	18	23.68%	23	30.26%	20	26.32%	8	10.53%	4	5.26%	3	3.95%	76
H20初期(前期)	7	22.58%	12	38.71%	7	22.58%	3	9.68%	0	0.00%	2	6.45%	31
H20初期(後期)	4	12.90%	6	19.35%	10	32.26%	7	22.58%	2	6.45%	2	6.45%	31
H20展開期	13	30.95%	14	33.33%	9	21.43%	2	4.76%	0	0.00%	4	9.52%	42
H20協働	3	50.00%	3	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	9	31.03%	11	37.93%	6	20.69%	0	0.00%	0	0.00%	3	10.34%	29
H21初期(後期)	15	44.12%	9	26.47%	5	14.71%	3	8.82%	1	2.94%	1	2.94%	34
H21展開期	17	51.52%	6	18.18%	4	12.12%	4	12.12%	2	6.06%	0	0.00%	33
H21協働	5	62.50%	2	25.00%	1	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	91	31.38%	86	29.66%	62	21.38%	27	9.31%	9	3.10%	15	5.17%	290

⑤市民との関わりが増えた

	そう思う		ある程度思う		あまり思わ		全く思わない		わからない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	32	42.11%	33	43.42%	7	9.21%	0	0.00%	2	2.63%	2	2.63%	76
H20初期(前期)	14	45.16%	14	45.16%	2	6.45%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.23%	31
H20初期(後期)	8	25.81%	14	45.16%	6	19.35%	0	0.00%	1	3.23%	2	6.45%	31
H20展開期	19	45.24%	14	33.33%	7	16.67%	1	2.38%	0	0.00%	1	2.38%	42
H20協働	5	83.33%	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	12	41.38%	8	27.59%	7	24.14%	0	0.00%	0	0.00%	2	6.90%	29
H21初期(後期)	19	55.88%	11	32.35%	4	11.76%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	34
H21展開期	18	54.55%	10	30.30%	3	9.09%	0	0.00%	1	3.03%	1	3.03%	33
H21協働	2	25.00%	5	62.50%	0	0.00%	1	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	129	44.48%	110	37.93%	36	12.41%	2	0.69%	4	1.38%	9	3.10%	290

⑥有給または無給のスタッフの力量が上がった

	そう思う		ある程度思う		あまり思わ		全く思わない		わからない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	12	15.79%	33	43.42%	13	17.11%	8	10.53%	3	3.95%	7	9.21%	76
H20初期(前期)	4	12.90%	15	48.39%	6	19.35%	2	6.45%	1	3.23%	3	9.68%	31
H20初期(後期)	5	16.13%	11	35.48%	3	9.68%	3	9.68%	6	19.35%	3	9.68%	31
H20展開期	10	23.81%	16	38.10%	6	14.29%	2	4.76%	0	0.00%	8	19.05%	42
H20協働	0	0.00%	4	66.67%	0	0.00%	1	16.67%	0	0.00%	1	16.67%	6
H21初期(前期)	8	27.59%	7	24.14%	4	13.79%	4	13.79%	1	3.45%	5	17.24%	29
H21初期(後期)	7	20.59%	12	35.29%	5	14.71%	3	8.82%	2	5.88%	5	14.71%	34
H21展開期	11	33.33%	13	39.39%	4	12.12%	2	6.06%	1	3.03%	2	6.06%	33
H21協働	2	25.00%	4	50.00%	1	12.50%	1	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	59	20.34%	115	39.66%	42	14.48%	26	8.97%	14	4.83%	34	11.72%	290

⑦組織としての専門性が上がった

	そう思う		ある程度思う		あまり思わ		全く思わない		わからない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	18	23.68%	27	35.53%	19	25.00%	6	7.89%	2	2.63%	4	5.26%	76
H20初期(前期)	6	19.35%	19	61.29%	3	9.68%	0	0.00%	1	3.23%	2	6.45%	31
H20初期(後期)	5	16.13%	12	38.71%	7	22.58%	2	6.45%	4	12.90%	1	3.23%	31
H20展開期	10	23.81%	18	42.86%	8	19.05%	0	0.00%	1	2.38%	5	11.90%	42
H20協働	2	33.33%	3	50.00%	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	10	34.48%	12	41.38%	5	17.24%	0	0.00%	0	0.00%	2	6.90%	29
H21初期(後期)	9	26.47%	12	35.29%	7	20.59%	1	2.94%	2	5.88%	3	8.82%	34
H21展開期	15	45.45%	13	39.39%	3	9.09%	0	0.00%	1	3.03%	1	3.03%	33
H21協働	2	25.00%	3	37.50%	2	25.00%	1	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	77	26.55%	119	41.03%	55	18.97%	10	3.45%	11	3.79%	18	6.21%	290

⑧寄付や会員が増えた

	そう思う		ある程度思う		あまり思わ		全く思わない		わからない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	12	15.79%	20	26.32%	23	30.26%	13	17.11%	3	3.95%	5	6.58%	76
H20初期(前期)	0	0.00%	15	48.39%	7	22.58%	7	22.58%	0	0.00%	2	6.45%	31
H20初期(後期)	1	3.23%	7	22.58%	13	41.94%	7	22.58%	2	6.45%	1	3.23%	31
H20展開期	3	7.14%	11	26.19%	17	40.48%	6	14.29%	0	0.00%	5	11.90%	42
H20協働	1	16.67%	1	16.67%	4	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	5	17.24%	8	27.59%	8	27.59%	4	13.79%	0	0.00%	4	13.79%	29
H21初期(後期)	8	23.53%	10	29.41%	6	17.65%	4	11.76%	2	5.88%	4	11.76%	34
H21展開期	8	24.24%	8	24.24%	12	36.36%	3	9.09%	1	3.03%	1	3.03%	33
H21協働	1	12.50%	1	12.50%	4	50.00%	2	25.00%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	39	13.45%	81	27.93%	94	32.41%	46	15.86%	8	2.76%	22	7.59%	290

⑨新たな課題の発見につながった

	そう思う		ある程度思う		あまり思わ		全く思わない		わからない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	25	32.89%	35	46.05%	8	10.53%	1	1.32%	4	5.26%	3	3.95%	76
H20初期(前期)	11	35.48%	13	41.94%	3	9.68%	0	0.00%	2	6.45%	2	6.45%	31
H20初期(後期)	10	32.26%	14	45.16%	5	16.13%	0	0.00%	2	6.45%	0	0.00%	31
H20展開期	11	26.19%	22	52.38%	4	9.52%	0	0.00%	1	2.38%	4	9.52%	42
H20協働	3	50.00%	2	33.33%	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	11	37.93%	10	34.48%	4	13.79%	2	6.90%	0	0.00%	2	6.90%	29
H21初期(後期)	14	41.18%	15	44.12%	2	5.88%	0	0.00%	1	2.94%	2	5.88%	34
H21展開期	19	57.58%	11	33.33%	1	3.03%	0	0.00%	0	0.00%	2	6.06%	33
H21協働	4	50.00%	1	12.50%	2	25.00%	1	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	108	37.24%	123	42.41%	30	10.34%	4	1.38%	10	3.45%	15	5.17%	290

⑩将来展望が開けた

	そう思う		ある程度思う		あまり思わ		全く思わない		わからない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	24	31.58%	34	44.74%	8	10.53%	1	1.32%	4	5.26%	5	6.58%	76
H20初期(前期)	7	22.58%	14	45.16%	7	22.58%	0	0.00%	0	0.00%	3	9.68%	31
H20初期(後期)	7	22.58%	14	45.16%	5	16.13%	1	3.23%	3	9.68%	1	3.23%	31
H20展開期	14	33.33%	16	38.10%	7	16.67%	1	2.38%	1	2.38%	3	7.14%	42
H20協働	2	33.33%	3	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%	6
H21初期(前期)	10	34.48%	13	44.83%	3	10.34%	2	6.90%	0	0.00%	1	3.45%	29
H21初期(後期)	12	35.29%	17	50.00%	1	2.94%	0	0.00%	1	2.94%	3	8.82%	34
H21展開期	15	45.45%	13	39.39%	4	12.12%	0	0.00%	1	3.03%	0	0.00%	33
H21協働	2	25.00%	4	50.00%	1	12.50%	1	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	93	32.07%	128	44.14%	38	12.41%	6	2.07%	10	3.45%	17	5.86%	290

⑪団体の信頼性が上がった

	そう思う		ある程度思う		あまり思わ		全く思わない		わからない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	32	42.11%	32	42.11%	4	5.26%	1	1.32%	3	3.95%	4	5.26%	76
H20初期(前期)	19	61.29%	8	25.81%	3	9.68%	0	0.00%	1	3.23%	0	0.00%	31
H20初期(後期)	9	29.03%	15	48.39%	4	12.90%	1	3.23%	1	3.23%	1	3.23%	31
H20展開期	22	52.38%	16	38.10%	2	4.76%	0	0.00%	1	2.38%	1	2.38%	42
H20協働	3	50.00%	3	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	16	55.17%	10	34.48%	2	6.90%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.45%	29
H21初期(後期)	17	50.00%	14	41.18%	1	2.94%	0	0.00%	1	2.94%	1	2.94%	34
H21展開期	19	57.58%	12	36.36%	1	3.03%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.03%	33
H21協働	5	62.50%	2	25.00%	1	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	142	48.97%	112	38.62%	18	6.21%	2	0.69%	7	2.41%	9	3.10%	290

問 11 助成期間終了後の事業の状況

問11 助成期間終了後の事業の状況

	継続		より発展		縮小継続		休止、中止		その他		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	29	38.16%	36	47.37%	5	6.58%	4	5.26%	2	2.63%	0	0.00%	76
H20初期(前期)	14	45.16%	12	38.71%	3	9.68%	2	6.45%	0	0.00%	0	0.00%	31
H20初期(後期)	10	32.26%	10	32.26%	5	16.13%	4	12.90%	2	6.45%	0	0.00%	31
H20展開期	16	38.10%	18	42.86%	4	9.52%	2	4.76%	2	4.76%	0	0.00%	42
H20協働	3	50.00%	2	33.33%	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	7	24.14%	16	55.17%	4	13.79%	2	6.90%	0	0.00%	0	0.00%	29
H21初期(後期)	17	50.00%	14	41.18%	2	5.88%	1	2.94%	0	0.00%	0	0.00%	34
H21展開期	9	27.27%	16	48.48%	4	12.12%	1	3.03%	3	9.09%	0	0.00%	33
H21協働	2	25.00%	2	25.00%	2	25.00%	1	12.50%	1	12.50%	0	0.00%	8
合計	107	36.90%	128	43.45%	30	10.34%	17	5.86%	10	3.45%	0	0.00%	290

問 12 助成金額の適・不適

問12 助成金額の適・不適

	概ね適当		少なすぎ		余剰金が		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	54	71.05%	22	28.95%	0	0.00%	0	0.00%	76
H20初期(前期)	23	74.19%	8	25.81%	0	0.00%	0	0.00%	31
H20初期(後期)	28	90.32%	3	9.68%	0	0.00%	0	0.00%	31
H20展開期	39	92.86%	2	4.76%	1	2.38%	0	0.00%	42
H20協働	6	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	22	75.86%	6	20.69%	1	3.45%	0	0.00%	29
H21初期(後期)	25	73.53%	7	20.59%	1	2.94%	1	2.94%	34
H21展開期	26	78.79%	4	12.12%	3	9.09%	0	0.00%	33
H21協働	6	75.00%	2	25.00%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	229	78.97%	54	18.62%	6	2.07%	1	0.34%	290

問 13 あいちモリコロ基金がなければどうしていたか

問13 モリコロ助成がなかったらどうしたか

	事業実施なし		規模縮小、実施延期		他の財源を		その他		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	8	10.53%	47	61.84%	12	15.79%	8	10.53%	1	1.32%	76
H20初期(前期)	6	19.35%	19	61.29%	3	9.68%	3	9.68%	0	0.00%	31
H20初期(後期)	5	16.13%	18	58.06%	6	19.35%	2	6.45%	0	0.00%	31
H20展開期	5	11.90%	24	57.14%	9	21.43%	3	7.14%	1	2.38%	42
H20協働	1	16.67%	4	66.67%	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	4	13.79%	18	62.07%	4	13.79%	3	10.34%	0	0.00%	29
H21初期(後期)	3	8.82%	22	64.71%	8	23.53%	1	2.94%	0	0.00%	34
H21展開期	6	18.18%	23	69.70%	2	6.06%	2	6.06%	0	0.00%	33
H21協働	1	12.50%	5	62.50%	1	12.50%	1	12.50%	0	0.00%	8
合計	39	13.45%	180	62.07%	46	15.86%	23	7.93%	2	0.69%	290

問 14 本助成制度は使いやすかったか

問14 本助成制度は使いやすかったか

	とてもそう思う		ある程度思う		あまり思わ		まったく思わない		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	30	39.47%	36	47.37%	6	7.89%	3	3.95%	1	1.32%	76
H20初期(前期)	13	41.94%	16	51.61%	2	6.45%	0	0.00%	0	0.00%	31
H20初期(後期)	14	45.16%	14	45.16%	1	3.23%	1	3.23%	1	3.23%	31
H20展開期	18	42.86%	19	45.24%	4	9.52%	0	0.00%	1	2.38%	42
H20協働	5	83.33%	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	9	31.03%	19	65.52%	1	3.45%	0	0.00%	0	0.00%	29
H21初期(後期)	17	50.00%	16	47.06%	1	2.94%	0	0.00%	0	0.00%	34
H21展開期	23	69.70%	10	30.30%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	33
H21協働	6	75.00%	2	25.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	8
合計	135	46.55%	133	45.86%	15	5.17%	4	1.38%	3	1.03%	290

問 15 この助成制度で、とくによかった点

問15 この制度で特に良かった点	
H19初期 記入団体42	<p>■助成金の趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> 金額は少額であるが、初期活動をサポートし、萌芽を促進させるという目的に当会がバッチリ当てはまった。 別途トヨタからも助成あり、トータルで加速することが出来た。 あいちモリコロの理念にあう形のプログラムを実施する助成でこどもの心の形成につながるものに出して頂いたことに感謝している。 広く草の根活動をしている団体や、あるいはこれをきっかけに草の根活動してみようという団体にとってはその立ち上げとても入りやすいと感じた。 環境活動に重点があるので利用しやすかった。 <p>■システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期助成制度があること。 少し事業を進めた団体に助成することで、無駄のない投資ができると思う。 素人(NPOでなくても)の集まりの様な、市民活動団体でも応募できること。 書記・展開期というランクが分かれていて自分たちの身の丈にあった活動で、助成が受けられること。 小さなNPOでも対象にもらったことは感謝します。 小さな市民団体にも助成されることがよかった。 任意団体が継続した事業を行うための応援金としてある程度の額があるので、心に余裕が持たれた。 初期活動から、協働事業、大規模事業と段階を追っての申請が出来、事業計画に合わせやすい。 助成対象範囲がとても広いこと。 1人件費が助成対象になっている。2費目の全額を融通しても良い。又基準が明確。 初期活動という対象が設定されていること。 私の周辺を見ても、これに勇気付けられ、活動を始め立ち上げ、継続しているグループが多々ある。 愛知県内の市民活動立ち上げに大いに貢献されていると思う。万博の理念の継承に最もふさわしい資金の使い方であると考えている。 ①特定の事業を対象としなくても良かったこと ②多種の活動を進めている本会で、どうしても事務費(インク・用紙・通信用封筒・印刷代など)は多くの活動をまたがって出費する。このような事態に便利良い。 <p>■手続について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前説明会が丁寧で良い。また、情報公開により自己検証もできる。 申請⇒決定までの流れが早かったこと。 私たちのように活動の対象人数の小さい団体でも、内容の理解で助成していただいたこと。 初年度助成は助成申請書類だけだったので、仕事で夜や休みしか時間のない私たちのような団体に助かりました。 完了報告書の書類が少ない。 書類審査のみであった点。 助成に至るまでのスピードがとても速かった。 さらに、事前にお金をいただくことにより、借り入れや立て替えの必要がなく事業がとても円滑に進められた。 ただし、両刃の剣という面は否定できないが。 <p>■相談、サポート体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 領収書の処理に関して不明点があった際、丁寧に対応していただいた。 目指すものが具体的になるような申請書づくりが活動の助けとなりました。 具体的にやりたい事をお話して、それに対してどうすれば助成が受けられる条件をクリアできるのか指導を頂いたこと。 <p>■審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> スムーズな審査で決定したこと。 公開プレゼンテーションについて、プレゼンする団体にとっては確かに負担感があることは否定しないが、他の団体のプレゼンを聞くことによって、その団体の問題意識や個性などを感じ取ることができ、楽しみの一つになっている。 <p>■運用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由に使えた事。 助成金が人件費に使わせてもらった事。 資金が計画通り入ってくるので年間予定がスムーズにトラブルなく進められること。連携先からも信頼される、PRチラシ冊子の制作に関して支払いにスムーズに対処可能な為、活動と分析に集中できる。 人件費の助成として有効であった。 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> モリコロ基金の助成を受けたことで、ノンフレッドにかけられるモリコロのマークを付けることができました。それが、結構人の目を引いた。

H20初期(前期) 記入団体23	<p>■助成金の趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体としての資金が0円に近い状況、また企業からの援助によって偏見を持たないためには、こうしたカラーのない助成はありがたい。 ・愛・地球博のおかげで地域に市民にエコの風が吹いて意識が高まった。 ・実績の無い団体でも熱意、努力、活動をご理解いただいた。 ・一番良いのもリコロ(愛知万博)の精神に沿った活動への助成である点で助成をさせていただいて、勇気づけられ、励まされたことがあると思う。何しろ資金をいただいたことま心から感謝している。
	<p>■システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金が前払いであること。 ・申請額に対して満額助成であったこと。計画した事業がきちとやれて成果が出るから ・補助率100%であること。 ・活動区分をしっかりと設定し、項目ごとに募集を行っていたこと。
	<p>■手続について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画書、報告書が簡単であった。 ・申請時に計画的な会の行動などを決定することができ、少人数ながら計画的な行動ができ、絶えず評価を考えることができた。 ・申請書を書く時点で、改めて自らの活動内容や目的、達成を目指す成果などを確認することにより、会員間の理解も進んだ点。 ・簡便な会計報告 ・初期活動において書類審査であったこと。 ・①まず、申請書記入でとても勉強になった。②3月下旬にすでに支払が完了され事業遂行にあたり大変助かった。
	<p>■相談、サポート体制</p>
	<p>■審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷物を作成したことが、山崎川グリーンマップとしての活動を認めてもらえることになった。印刷費がありがたかった。 ・備品・機材を購入することが出来、団体の活動の質を高めることが出来た。審査基準が明確で、申請時に大変参考になった。
	<p>■運用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷物を作成したことが、山崎川グリーンマップとしての活動を認めてもらえることになった。印刷費ありがたかったです。 ・備品・機材を購入することが出来、団体の活動の質を高めることが出来た。
	<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行でOKと思います ・ボランティアを立ち上げる時期にこのような助成が得られることは当事者としては大いに助けとなった。 支給条件・金額など見直し継続を希望します。
	<p>■助成金の趣旨</p>
	<p>■システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較的幅広く助成がいただける。 ・事を始めるには何事もお金がかかってしまう。目的がしっかりとさえいけば、取得しやすい制度であったこと。 ・私たちのような小さな団体では、1日ま会員の年会費で運営されている。 ・そのため、何か事業をするにも予算がなく、あきらめることになりかねない。 ・この助成制度(初期活動)は、設立3年以内の団体に助成されるため、小さな団体でも助成金を受けやすい点が良いと思う。
	<p>■手続について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請書類が簡略されている。
<p>■相談、サポート体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請に際してアドバイスをいただけたこと。 	
<p>■審査について</p>	
<p>■運用について</p>	
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的認知度が高いので、この助成金を受けたことが事業実施の成功に結び付いた。 	
H20初期(後期) 記入団体10	

<p>H20展開期 記入団体28</p>	<p>■助成金の趣旨 ・愛・地球博の理念の下に新たな社会システムの構築を目指すNPO、NGO、ボランティア等への助成制度として有効に機能されていると思います。</p> <p>■システムについて ・金額の幅が比較的大きく、ボランティアにとっては比較的大きな90万円が支援、いただけたことは、他では30-50万円前後であるためとてもありがたかった。 ・前払いで助成金を受けられる点 ・助成金を一括でいただけるので、金額が明確で、年間の予算がとてまたやすかったことです。 ・先に資金を振り込んでくれることで経営的にも楽になりました。 ・新しい事業(収益見込めない状態で)にチャレンジすることが出来る点 ・単年度の助成であったが2年間の事業活動に活用できたため、開発期間を要するリモート支援システムの開発が可能であった。</p> <p>■手続について ・プレゼンなどで他のグループの活動を知り、刺激を受けた。 ・プレゼンテーション及び自己評価発表があったことです。 ・制度が複雑ではなくスピード感があり、とてもよかったです。 ・申請についての審査ならこに実績報告が書類のみでなく、公開で口頭で行われていることは、公平性の点から見て大変良いことと思う。特に似たような事業を計画している他団体の実情がわかるという利点もある。</p> <p>■相談、サポート体制 ・交流会で同グループとなった団体と親交が生まれました。</p> <p>■審査について</p> <p>■運用について ・科目間流用ができたこと。 ・助成金の使途に細かな制限が加えられていないので利用しやすい。 ・人件費に使えることで団体にとって極めてありがたいものであった。新しい事業にチャレンジするきっかけを与えてくれた。 ・備品的なものも購入できた。 ・使途の範囲が広いので利用しやすいと聞いている。 ・人件費も助成対象であった。 ・電話相談の場合、相談室を確保して電話を置き、プライバシーを保たねばならないがイベントの会場のような一時的な会場を借りる場合の助成金しかない所が多い。モロッコ基金は相談室の賃貸料に使えるところがありがたい。</p> <p>■その他 ・モロッコ基金助成金を受託できて、団体の信頼性があり、各種団体やボランティアの問い合わせが増えた。 ・モロッコ基金の知名度が高いので、PR効果があった。 ・あいちモロッコ基金の助成事業ということで、行政やメディアなどが後援者になっていただき、取材されて放映があったこと。 ・万博の基金という事ではお一層の思いがあります。他の助成とは異なった記念であるために大切に未永く使用させていただけました。 ・なかなか一団体では後回しになってしまうが、実は重要なテーマについて助成金を機にネットワークを活かした形で取り組めたこと。</p>
<p>H20協働 記入団体4</p>	<p>■助成金の趣旨</p> <p>■システムについて</p> <p>■手続について</p> <p>■相談、サポート体制</p> <p>■審査について ・公正な審査がなされたこと ・公開プレゼンが行われるので、他団体事も知ることができる</p> <p>■運用について</p> <p>■その他</p>
<p>H21 初期(前期) 記入団体21</p>	<p>■助成金の趣旨 モロッコ基金の主旨にあわせた助成金であったこと。</p> <p>■システムについて ・事業を開始する前に助成金がいただけたこと。 ・人件費が助成対象経費である助成金はあまりないため、良かったと思う。 ・立ち上げからあまり年数がいっていないうちの様な団体にも理解をいただいたことよかったです。大変ありがたかった。 ・助成金を事前に振り込んでいただけること。 ・申請した項目がほとんど認められたことうれしい。 ・予算に対し実行段階で変更がありました申請すれば変更が認められる制度がありよかったです。 ・助成対象を多項目の中から選べる点はよいと思う ・助成が初期、展開期、大規模と分けられている点は立ち上げばかりの我々にとっては大変助かった。 (初期は受け入れてもらえそうに思えて良かった。) ・前金払い ・申請当初は任意団体だった為、任意団体でも申請できたのはよかったです。</p> <p>■手続について ・事業報告書が簡潔なもので良かった点。 ・変更に対応できる点</p> <p>■相談、サポート体制 ・申請時、相談コーナーがあり、新設に不明な点や書類点検などしていただいたこととてもありがたかった。</p> <p>■審査について ・選考の際に点数をつけてもらえるのが良い。(第三社の視点で評価してもらえるので) ・実績がなくても事業評価されるから</p> <p>■運用について ・調査。まちづくり、人づくり、とあらゆる分野にまたがった助成金の使い方(特に調査)をさせていただける点です。</p> <p>■その他 ・モロッコの助成があるということで参加者が集まりやすかったと思います。 ・「モロッコ基金」というだけで他者に伝わる理念や信頼度があるように感じた。</p>

H21 初期(後期) 記入団体23	<p>■助成金の趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> 「モリコロ基金の目指すもの」が分かりやすい点が良いと思います。 設立して1年目の小さな団体でも費用が頂けた事に感謝しています <p>■システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 収入が少ない団体にとって90%以上の助成となり、本当にありがたかった。 先に資金を頂けたこと。 <p>■手続について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務量が少ないこと 他の助成金と大きな違いは、報告会への出席が無かったことです。 <p>■相談、サポート体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請期間中いつでも相談出来たので特にありがたいと思った(他でほとんど見られないから) 申請書の書き方・質問に親切に答えていただきました。 <p>■審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> 審査が、各項目の得点数の合計というわかりやすい基準。経験の浅い団体でも公平な視点で審査していただけたようで嬉しかった。 <p>■運用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動は、まかせられている点 この制度で、特に事業に対し、規制が無く、使い易かった。 「予算項目の変更可能」が良い(予算計上もれ、突発的出資、思わぬ出資が多々あった) 物品、資材が購入できた。 計画時と実施する内容が変わったことを受け入れて下さった事に感謝しています。 活動の変更の際、予算変更届で対応して頂いた事 「備品整備」に限るなどの制約もなく、運営費も認められる自由度があって良かった。 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> モリコロ基金の知名度が高いので、広報として公共性が高くなり、とても助かりました。今までにモリコロ基金を利用したことがある団体の方が、協力してくれました。 任意団体のためいろいろな経験もなかったが使いやすかった。
H21 展開期 記入団体26	<p>■助成金の趣旨</p> <p>■システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部スタッフの人件費が払えること。 申請時と活動内容が多少変わることがあるのですが項目内の金額の規制しかなかったのでうまく流用できた。 助成金が早い段階で使えるので良かった。 補助率の高さ 初期活動、展開期活動、協働活動の3活動分けでのチャンスがあること (1)各事業の指導理念が、モリコロ基金の基本理念と合致するか否かを助成審査の基本としていること。 (2)単に活動成果を計数化したり、効率を問う制度でないこと。 先に助成金を振り込んでいただけること。 事業予定額の80%と高額でいただけたこと。 先に資金を振り込んでくれることで経営的にも楽になりました。 <p>■手続について</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請時と活動内容が多少変わることがあるのですが項目内の金額の規制しかなかったのでうまく流用できた。 プレゼンテーションがあること。事業報告会が開かれ反省と修正発展を意識させられること。 1)申請後、書類審査のみでなく公開のヒアリングも行われ、また公開の実績報告会があることは、助成の公平性からみて適切な対応と思う。 2)予算変更届の提出により、ある程度予算支出に自由度が生じることは良いことと思う。 昨日、2011年用事業の審査会に参加させていただいた。これで4回目の参加となり、当日配布された申請書を読んで感じたが、毎年申請書のレベルが確実に上がっていることが分かる。通常の助成金でそこまで上がるものかと考えた場合、やはり申請書をどのように配布することが、他団体の申請内容から学ぶことができ、レベルを上げているかと察する。これはすごいことだと思います！(ただ、他の助成金では申請書を公開していないところや、企業の競合先のプレゼン資料が著作権や知的財産権の問題から公開されないところを見ると、今の形に問題がないのかわり、気になるところです。) 公開プレゼンが行われるので、他団体事も知ることができる <p>■相談、サポート体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前説明会が丁寧で良い。また、情報公開により自己検証もできる。 問合せに対して丁寧に教えて下さること。 <p>■審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> 助成決定の迅速さが計画実施するうえで非常に助かる。それは事業実施は4月から始まるが、その資金が実施事業に利用可能と準備期間内の資金の計画が可能だから、そのため交渉がスムーズに出来る。当団体の発表と事業の継続と持続はモリコロ基金の影響が大きい。 <p>■運用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用に当たっては柔軟性があり、助成団体を支援し育てようとする姿勢が随所こころがわれ高く評価致したい。 当団体の不足しがちであったPRの面を通信費をいただいたことで幅広く周知することができた。 このことで、山形に来てくれる方も増えたり、以前来てくれた方にもDMなどを送って参加者も増えました。 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政や地元コミュニティ組織に対して、説明し易かった。 モリコロ基金助成金を受託できて、団体の信頼性が上がり、各種団体やボランティアの問い合わせが増えた。
H21 協働 記入団体7	<p>■助成金の趣旨</p> <p>■システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤スタッフの人件費も助成対象となっている点 初期活動から、協働事業、大規模事業と段階を迫っての申請が出来、事業計画にあわせやすい。 金額前金払い 協働事業が100%助成 <p>■手続について</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤スタッフの人件費も助成対象となっている点 初期活動から、協働事業、大規模事業と段階を迫っての申請が出来、事業計画にあわせやすい。 金額前金払い 協働事業が100%助成 公開、公募の開かれた募集であったこと。 <p>■相談、サポート体制</p> <p>■審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> 公正な審査がなされたこと <p>■運用について</p> <p>■その他</p>

問 16 資金の助成以外に支援があれば良いか

問16 資金以外の支援があれば良いか

	そう思う		そう思わない		どちらとも		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	37	48.68%	10	13.16%	28	36.84%	1	1.32%	76
H20初期(前期)	14	45.16%	5	16.13%	12	38.71%	0	0.00%	31
H20初期(後期)	14	45.16%	5	16.13%	11	35.48%	1	3.23%	31
H20展開期	15	35.71%	9	21.43%	17	40.48%	1	2.38%	42
H20協働	2	33.33%	0	0.00%	4	66.67%	0	0.00%	6
H21初期(前期)	15	51.72%	5	17.24%	9	31.03%	0	0.00%	29
H21初期(後期)	12	35.29%	8	23.53%	14	41.18%	0	0.00%	34
H21展開期	20	60.61%	5	15.15%	8	24.24%	0	0.00%	33
H21協働	2	25.00%	1	12.50%	4	50.00%	1	12.50%	8
合計	131	45.17%	48	16.55%	107	36.90%	4	1.38%	290

問 17 どのような時にサポートが必要か

※N=148(問16でそう思うと答えた団体中の回答数)

※複数回答あり

問17 どのような時にサポートが必要か

	申請時		事業実施時		事業報告時		無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
H19初期	9	20.9%	24	55.8%	5	11.6%	5	6.6%	43
H20初期(前期)	2	13.3%	7	46.7%	5	33.3%	1	3.2%	15
H20初期(後期)	8	50.0%	5	31.3%	3	18.8%	0	0.0%	16
H20展開期	2	11.1%	11	61.1%	5	27.8%	0	0.0%	18
H20協働	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
H21初期(前期)	3	17.6%	7	41.2%	6	35.3%	1	3.4%	17
H21初期(後期)	2	16.7%	9	75.0%	1	8.3%	0	0.0%	12
H21展開期	6	26.1%	9	39.1%	8	34.8%	0	0.0%	23
H21協働	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
合計	34	23.0%	74	50.0%	33	22.3%	7	2.4%	148

問 18 この助成制度で困った点や改善を要する点(抜粋とまとめ)

平成 19 年度 初期

■まとめ

- ・事業企画に対する専門家のアドバイス、サポートがあるとよい。
- ・事務運営へのサポートがあるとよい。
- ・ボランティアに来てほしい。
- ・講師の紹介があるとよい。
- ・書類作成のアドバイスがあるとよい。
- ・ホームページ作成、広報、参加者募集のサポートがあるとよい。
- ・資金づくりのサポートがあるとよい。

平成 20 年度 初期(前期)

■申請・審査について

- ・一回だけでなく複数回助成ができるとうい。
- ・評価点数をつける課程や理由を明確にしてほしい。
- ・小さな団体の育成を後押ししてほしい。

■受託後

- ・報告発表会がほしい。
- ・助成団体の活動 PR を積極的にしてほしい。
- ・報告書が細かすぎる。

■評価・報告

- ・現地視察をしてほしい。
- ・報告書作成が煩雑で負担になる。

平成 20 年度 初期(後期)

■申請について

- ・継続的に助成金が受けれるとよい。
- ・三年間の継続助成が受けれるとよい。
- ・複数年段階的に減額していく助成であるとよい。

■評価・報告

- ・実際に活動を見て必要性を理解してほしい。
- ・報告書作成の負担が大きい。簡便化してほしい。
- ・支出項目の変更が緩やかであるとよい。
- ・実際に勘定科目に照らした項目のふりわけをしてほしい。

平成 20 年度 展開期

■募集・申請について

- ・テーマを絞った募集をおこない助成額を増やすとよい。
- ・軽微な書類不備には指導、訂正するチャンスがほしい。
- ・活動アピール欄にある「必要性」「公益性」は同じことを違う視点で作文することになっているのではないか。
- ・審査員の質に疑問な方がいる。
- ・審査基準である費用の妥当性などは明確でない。もっと具体性がほしい。

■受託

- ・助成通知が三月中旬だが、4月からの事業準備ができるように早めてほしい。
- ・助成決定までのスケジュールの曖昧さがすぎる。
- ・事業者同士が交流できるとよい。

■評価・報告について

- ・事業者同士の交流を促進してほしい。
- ・申請書が表計算できるソフトが使えるようにしてほしい。
- ・報告書提出の請求など早めにしてほしい。
- ・予期せぬ出来事に対応するためプール計算が可能となるとよい。
- ・報告書で求められていることがわからず、書きにくかった。
- ・たった1年、100万円です社会変化に対する実感はおこらない。
- ・報告会に行くのに時間とお金がかかりすぎる。また土日では活動日と重なる。
- ・助成団体同士が学び合えるようなものに充実させてほしい。

■金額など

- ・限度額を150万円に引き上げて欲しい。
- ・助成率80パーセントは厳しい。

平成 20 年度 協働

■申請について

- ・助成が3年リミットであるのが残念。
- ・申請締切日を延ばして欲しかった。

■評価・報告について

- ・評価点数について詳細な理由を知りたい。

平成 21 年度 初期(前期)

■申請について

- ・申請書を簡素化してほしい。
- ・変更届の理解や書き方が難しい。
- ・助成対象期間に対して柔軟にほしい。

■評価・報告について

- ・報告書での会計報告や資料添付など簡素化してほしい。

- ・報告内容について専門家の総評がほしい。

平成 21 年度 初期(後期)

■申請について

- ・展開期活動対象数を増やしてほしい。
- ・申請に必要な手数料なども助成対象にしてほしい。
- ・採択時に申請資金内訳を見直しできるチャンスがあるとありがたい。
- ・項目内での金額の自由な移動を認めてほしい。

■評価・報告について

- ・他団体の取り組み事例をネットで公開できれば活動の参考になる。
- ・実績報告と自己評価が同じ内容になりがち。

平成 21 年度 展開期

■申請

- ・3年目以降も継続して申請できるとよい。
- ・申請時点では詰められないので、費用項目の流用ができるとうよい。

■審査について

- ・公開審査に一般の人が参加でき社会の課題や活動団体を知ってもらえる機会となるような市民社会の成熟をより意識した助成制度であるべき。基金終了後に市民社会が地域に根づくものになるようにする。
- ・中間支援団体枠を設けてほしい。

■助成決定

- ・助成決定を2月中旬までにおこなってほしい。

■金額など

- ・助成率 8/10 は厳しい。
- ・100 パーセント助成だとうれしい。
- ・上限を 150 万にしてほしい。

■報告について

- ・成果発表会においてもっとゆとりをもって議論できるセッションがあるとよい。

平成 21 年度 協働

■申請について

- ・助成対象エリアの拡充。
- ・余剰金の繰り越しが可能になるとよい。
- ・項目間の経費流用制限の見直し。
- ・会議における茶菓子を助成対象の経費から外す。
- ・一次審査、二次審査の日程を早める、通知を早くする。
- ・1次審査の点数を二次審査前に知らせしてほしい。
- ・審査員はNPOや協働、中間支援、新しい公共について理解している人がよい。
- ・初期活動の成果によっては展開期も採用可となるシステムがあれば継続した事業計画を立てられる。